

埋蔵文化財センター二十周年

二十年の歩み



1991 ~ 2011

(財) 高知県文化財団埋蔵文化財センター

20年の歩み

埋蔵文化財センター開設 20 周年

平成 23 年 3 月

(財) 高知県文化財団埋蔵文化財センター

20年の歩み 目 次

ごあいさつ	1
I 埋蔵文化財センターの設置	2
1 財団法人高知県文化財団	2
(1) 財団法人高知県文化財団の設立	2
(2) 財団法人高知県文化財団の組織・体制	2
2 埋蔵文化財センター	3
(1) 埋蔵文化財センターの開設	3
(2) 埋蔵文化財センターの施設	3
(3) 埋蔵文化財センターの組織・体制	6
(4) 埋蔵文化財センターの沿革	7
II 発掘調査事業	8
1 発掘調査事業の概要	8
(1) これまでの発掘調査	8
(2) 大規模調査	9
III 広報普及事業	19
1 平成 3～13 年度の広報普及事業	19
2 平成 14～22 年度の広報普及事業	20
IV 事業活動資料	26
1 平成 2～22 年度発掘調査事業	26
2 平成 2～22 年度発掘調査面積・調査経費集計	34
3 埋蔵文化財センター発掘調査報告書刊行一覧	35
4 現地説明会等開催一覧	38
5 埋蔵文化財センター人員体制一覧	41
6 埋蔵文化財センター入館者数等一覧	42
7 記念講演会一覧	42
8 職員専門研修一覧	43
9 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター研修参加一覧	44

ごあいさつ

高知県立埋蔵文化財センター及び財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センターは、高知県の埋蔵文化財保護推進を図り、よって高知県の文化振興に寄与することを目的として平成3年4月に設置され、平成22年度で開設20年を迎えました。

財団法人高知県文化財団は、高知県より高知県立埋蔵文化財センター、高知県立歴史民俗資料館、高知県立美術館、高知県立坂本龍馬記念館、高知県立文学館、高知県立県民文化ホールの県立6施設の指定管理を受けて、それぞれに各館の特色を活かしながら施設の管理運営及び文化事業を推進しており、高知県の文化振興を語る上では欠くことのできない組織として、県民の皆様の間にも定着しています。

埋蔵文化財センターでは平成3年度の開設以来、この20年の間に高知空港整備拡張、四国横断自動車道、中村宿毛道路、土佐市バイパス建設や中筋川河川改修等の開発に伴う発掘調査を行い大きな成果を上げてきました。そして現在も東部自動車道である高知南国、南国安芸道路、高知西バイパス、国道195号あけぼの道路の建設、波介川河口導流事業などの県政上重要な事業に伴う発掘調査や整理作業が進められており、地域における歴史をよみがえらせています。

当センターが埋蔵文化財保護において、このような大きな成果を上げることができましたのも、関係者を初めとし広く県民の皆様の並々ならぬご尽力とご協力があればこそであり、心から感謝申し上げます。

開設20年を迎え、これからも高知県における埋蔵文化財に関する専門機関として職員一同心を新たにし、発掘調査はもとより展示や、公開講座、出前考古学教室などの普及活動にもなお一層の工夫をこらし、高知の歴史と文化振興に全力を挙げて取り組んでいく所存でありますので、さらなる皆様方のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

平成23年3月

財団法人高知県文化財団
埋蔵文化財センター所長 小笠原 孝夫

I 埋蔵文化財センターの設置

1. 財団法人高知県文化財団

(1) 財団法人高知県文化財団の設立

埋蔵文化財センターの管理運営及び業務実施については、他の5館の文化施設とともに財団法人高知県文化財団が母体となり、高知県からの指定管理や業務委託を受け実施している。

財団法人高知県文化財団は、県民の文化振興に資する芸術文化活動を県、市町村、民間の力を幅広く結集して、総合的且つ体系的に実施するとともに、県民の文化的活動の拠点となる芸術文化施設の管理運営を行うために設立され、これまで施設の公共性を確保しつつ、各々の館の特性を活かした県民サービスの推進に努めてきたところであり、高知県の芸術文化活動の推進母体としての役割を果たしている。

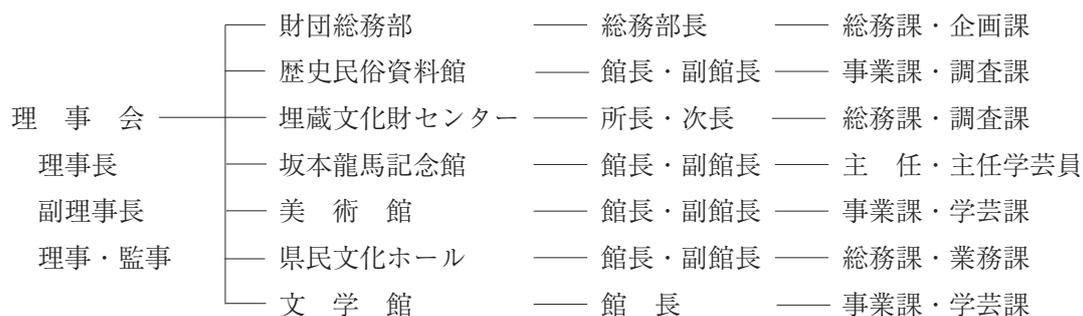
財団設立の目的を達成するために文化財団の行う事業として、① 音楽、演劇、美術その他の芸術文化事業 ② 教育、学術及び文化国際交流事業 ③ 歴史民俗資料館、美術館等の芸術文化施設の管理運営事業 ④ 埋蔵文化財の調査研究、整理保存、展示等事業 ⑤ その他文化振興に関する事業等があげられており、埋蔵文化財の発掘調査、出土文化財の保管管理、広報普及事業を含む県立埋蔵文化財センターの管理運営等が埋蔵文化財センターの事業として位置付けられている。

財団は平成2年3月28日に基本財産5億円をもって設立され、平成3年4月に開設された高知県立埋蔵文化財センター、同年5月に開館した高知県立歴史民俗資料館、同年8月開館の高知県立坂本龍馬記念館、平成5年4月開館の高知県立美術館、さらに、平成8年4月には高知県立県民文化ホール、平成9年11月からは高知県立文学館の県立施設6館の管理運営を県から受託し文化事業を推進しており、平成18年度からは指定管理制度による指定管理者として県からの指定を受け、引き続き各館の管理運営と文化事業を行うことにより、県民文化の振興に取り組んでいる。

(2) 財団法人高知県文化財団の組織・体制

財団法人高知県文化財団は、理事会のもと財団総務部と埋蔵文化財センター、歴史民俗資料館、美術館、坂本龍馬記念館、文学館、県民文化ホールの6館から構成されており、県からの指定管理を受け、施設の管理運営と文化事業を実施しており、埋蔵文化財センターでは発掘調査事業を中心に埋蔵文化財センターの施設管理と広報普及事業を行っている。

文化財団組織図



2. 埋蔵文化財センター

(1) 埋蔵文化財センターの開設

(財) 高知県文化財団埋蔵文化財センターは平成3年4月1日に開設されたが、それに先立ち文化財団が設立された平成2年3月には埋蔵文化財センター開設準備室が設置され、平成3年4月の開設のための準備を行うとともに、発掘調査等の受託業務が開始された。

埋蔵文化財センターが設置される以前は、県内における国等の開発事業に伴う発掘調査業務を県教育委員会が直接行っていたが、高知空港の再拡張、四国横断自動車道の南国市以西への延伸等の大規模事業が計画されており、これらの事業の対応として、人員体制も含め、これまで同様に県教育委員会による直営調査で行うには困難な状況が想定されたため検討が行われた。また、県立歴史民俗資料館や県立美術館の建設、開館も予定されていたことから、高知県における文化施設の管理運営と文化振興を担う母体として財団法人が設置されることとなり、同時に高知県立埋蔵文化財センターの施設設置も計画され、平成3年4月1日に高知県立埋蔵文化財センターと財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センターが設置、開設された。

平成3年度の埋蔵文化財センター開設以降は、県内の国及び県の事業を中心に開発に伴う埋蔵文化財発掘調査業務を受託し大きな成果を上げるとともに、財団設立当初の財団職員2名に加え、平成4年度に2名、平成8年度には5名の職員を採用し、県教育委員会からの派遣職員も含め調査体制の整備も進められた。

(2) 埋蔵文化財センターの施設

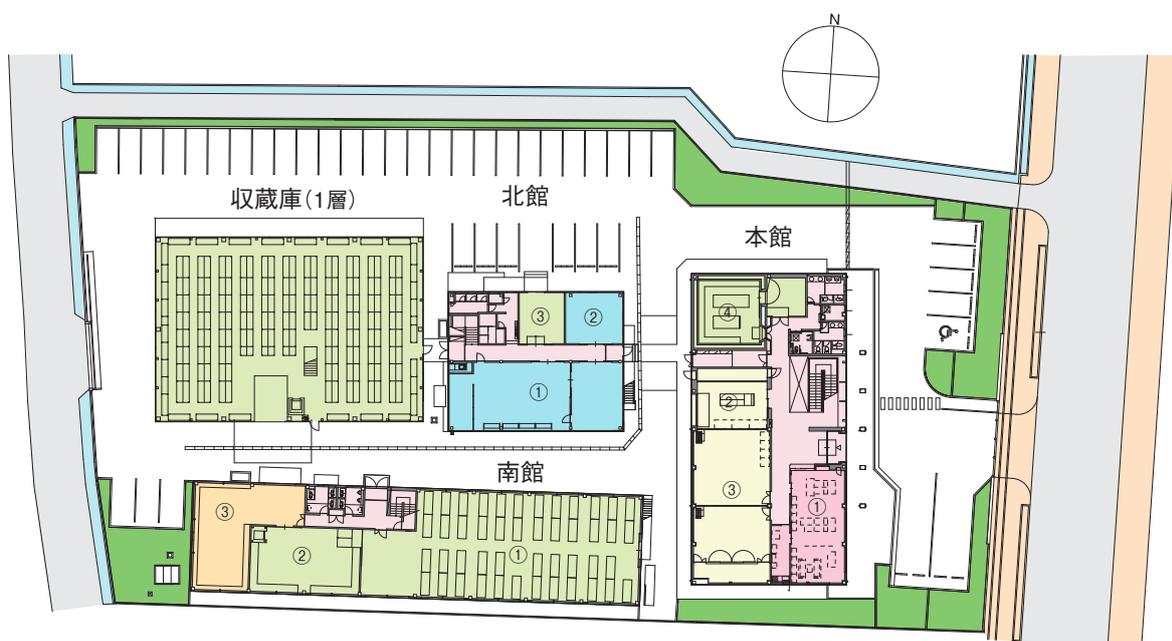
埋蔵文化財センターの施設は、平成3年4月に高知県立埋蔵文化財センターとして開設されたが、それ以前は高知県立東工業高等学校の寄宿舎を借り受け整理作業所として使用しており、プレハブ等の設置により整理棟や収蔵庫が一定整備されていた。しかしながら十分な作業環境とは言えず、改善が望まれていたこともあり、(財) 高知県文化財団埋蔵文化財センターの設置に合わせ新たに施設が建設された。その後も事業の拡大に伴い平成5年度には国庫補助により南館が建設され、さらに大規模調査であった高知空港拡張整備に伴う田村遺跡群や土佐市バイパス事業の現場終了に合わせ、平成13年度には再度国庫補助事業により本館と収蔵庫棟が新築され、規模は小さいながら展示会や公開講座などの広報・普及事業も行えるようになった。



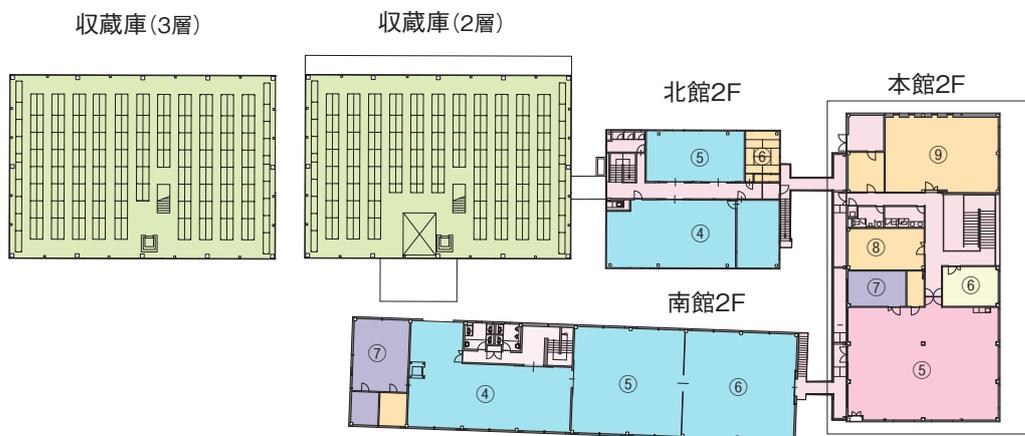
高知県立埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センター施設

埋蔵文化財センターの施設は、本館、北館、南館、収蔵庫の4棟の建物からなっており、本館1階には展示室、研修室、特別収蔵庫、総務課、2階には図書・図面保管室、写真保管室、情報管理室、所長室、調査員室等が配置されている。北館は1階に洗浄・整理作業室、仮収蔵庫、2階には整理作業室と休養室、南館1階には収蔵庫、仮収蔵庫、機材庫、2階には洗浄・整理作業室、写真撮影室が配置され、収蔵庫は3層の収蔵棚が設置されている。



埋蔵文化財センター配置図 1F



埋蔵文化財センター配置図 2F

所在地 高知県南国市篠原 1437-1
敷地面積 4,203㎡
建築構造 本館・北館・南館・・・鉄骨構造 2階建
収蔵庫・・・・・・・・・・鉄骨構造平屋建（3層積層収蔵棚）
建築面積 2,073.93㎡
（本館 615.58㎡ 北館 259.20㎡ 南館 574.11㎡ 収蔵庫 619.40㎡ プロパン庫 5.64㎡）
延床面積 4,136.16㎡
（本館 1,038.68㎡ 北館 518.40㎡ 南館 1,045.92㎡ 収蔵庫 1,527.52㎡ プロパン庫 5.64㎡）

各館面積内訳

本館 (1,038.68㎡)			
本館 1階		本館 2階	
室名	面積 (㎡)	室名	面積 (㎡)
① 事務室	73.44	⑤ 調査員	200.86
② 展示室	51.63	⑥ 所長室	25.18
③ 研修室	131.43	⑦ 情報管理室	22.32
④ 特別収蔵庫	78.28	⑧ 写真保管室	38.38
玄関ホール等	184.26	⑨ 図書・図面保管室	100.44
		階段・通路等	132.46
小計	519.04	小計	519.64

収蔵庫 (1,527.52㎡)	
階層	面積 (㎡)
1層	584.01
2層	462.48
3層	481.03

北館 (518.40㎡)			
北館 1階		北館 2階	
室名	面積 (㎡)	室名	面積 (㎡)
① 洗浄・整理室	129.60	④ 整理作業室 2	129.60
② 整理作業室 1	32.40	⑤ 整理作業室 3	55.89
③ 仮収蔵庫	25.92	⑥ 休養室	19.44
入口・通路等	71.28	階段・通路等	54.27
小計	259.20	小計	259.20



本館 展示室

南館 (1,045.92㎡)			
南館 1階		南館 2階	
室名	面積 (㎡)	室名	面積 (㎡)
① 収蔵庫	303.89	④ 洗浄・整理室	143.83
② 仮収蔵庫	81.03	⑤ 整理作業室 1	131.10
③ 機材庫	92.39	⑥ 整理作業室 2	131.10
入口・通路等	46.45	⑦ 写真撮影室	56.10
		階段・通路他	60.03
小計	523.76	小計	522.16



本館 研修室



埋蔵文化財センター 本館



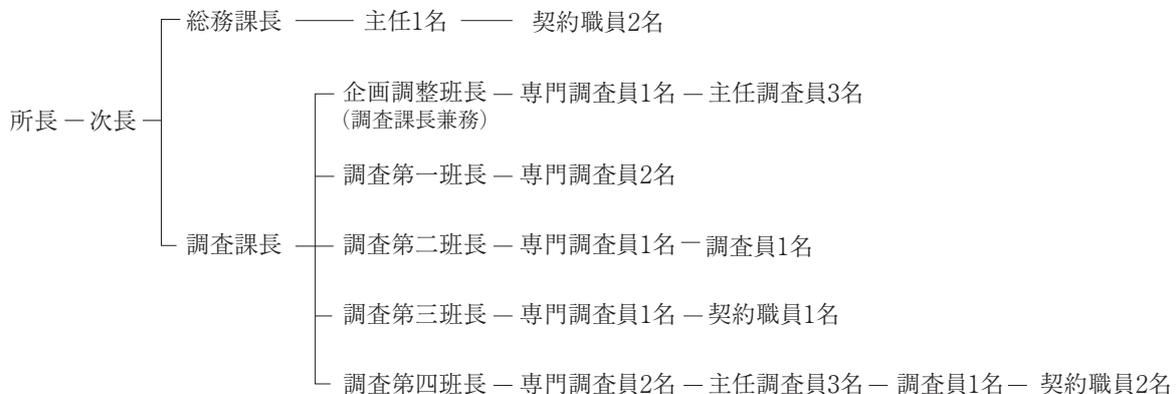
埋蔵文化財センター 南館

(3) 埋蔵文化財センターの組織・体制

埋蔵文化財センターが開設された平成3年度の組織体制は、財団専務理事が所長を兼務し、事業課長以下、総務担当と調査第1係、第2係の体制のもと、財団職員2名と県派遣職員7名、派遣教員2名、市町村派遣職員1名、非常勤調査補助員2名の15名により業務が開始された。翌年の平成4年度には市町村派遣職員は減員となったが、増加する事業対応として財団職員2名の新規採用に加え非常勤嘱託の事務員1名が新たに加わり、派遣教員も6名と増加し、21名体制となった。平成5年度には調査体制整備のために専任の所長が配置されるとともに総務課と調査課の2課体制となり、組織的な強化が行われ、派遣教員は1名減少し5名となったが県派遣職員は10名となり、22名体制となった。また、平成6・7年度の2カ年には1名の市町村職員派遣に加え派遣教員が増員され、平成6年度27名、平成7年度29名となり、本格化してきた四国横断自動車道建設等に伴う発掘調査に対応してきた。

平成8年度には滑走路延長のための高知空港整備拡張事業や土佐市バイパス建設の調査実施に向け、財団職員が5名増加され、計9名となった。また、派遣教員と非常勤調査補助員もさらに増加され、平成8年度の人員体制は前年度から一挙に12名増の41人体制となった。平成9年度以降も大規模調査への対応のため教員派遣を中心に平成13年度まで40～43名体制が生まれ、これまでない規模の調査が行われた。調査組織についても、当初の調査課2係から順次充実強化が図られ、平成9年度には4班1係、平成12年度には5班体制となり、県下各地の発掘調査にあたった。平成14年度以降は現地調査の終了に伴う派遣教員の減少により、平成14年度35名、平成15～17年度には28名体制で整理作業、報告書作成業務を中心に調査が進められた。

平成18年度には、指定管理者制度導入により高知県立埋蔵文化財センターの指定管理者となり、発掘調査業務とともに管理運営、広報普及事業を行うこととなり、調査体制もこれまでの調査5班体制から企画調整班と調査4班体制に改編され、本格的に展示、公開講座、出前考古学教室等の事業に取り組むこととなった。また、これまでの臨時職員が継続的な雇用の契約職員となり、平成18年度の埋蔵文化財センターの人員は32名となった。平成22年度現在の人員は派遣教員の減少により29名であり、その内訳は財団職員6名（3名退職）、財団嘱託員2名、財団契約職員5名、県派遣職員8名、派遣教員8名となっている。



平成22年度 埋蔵文化財センター組織図

(4) 埋蔵文化財センターの沿革

平成2年3月	財団法人高知県文化財団設立 埋蔵文化財センター開設準備室設置
平成2年6月	財団職員2名調査員採用
平成3年2月	埋蔵文化財センター施設（現北館）建設完成
平成3年4月	高知県立埋蔵文化財センター設置 財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター開設 事業課長、総務担当と調査2係体制で業務開始
平成4年3月	入口門扉新設整備
平成4年4月	財団職員2名調査員採用
平成5年4月	総務課、調査課の2課体制に改編 専任の所長、総務課長、調査課長を配置
平成5年7月	国庫補助事業により新たに南館を建設完成
平成6年4月	調査課1班2係体制に組織改編
平成7年8月	全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会開催
平成8年2月	年間2回の職員専門研修開始
平成8年4月	調査課2班2係体制に組織改編
平成8年6月	財団職員5名調査員採用
平成8年9月	土佐市バイパス事業対応のため土佐市発掘調査事務所設置
平成9年2月	高知空港拡張整備事業対応のため高知空港発掘調査事務所設置
平成9年4月	調査課4班1係体制に組織改編 市町村担当者を含めた初任者研修開始
平成9年12月	四国横断自動車道居徳遺跡群調査のため居徳遺跡群発掘調査事務所設置
平成10年10月	郵政省お年玉寄附金配分により情報管理システムを導入
平成11年5月	南国市内の小学校を対象に出前考古学教室を開始（平成10年度に試行） 次年度より県下の小学校を対象に事業拡大
平成11年9月	高知県立美術館で「高知の遺跡速報展」を開催
平成11年10月	埋蔵文化財センターホームページ開設
平成12年4月	調査課5班体制に組織改編
平成12年10月	高知県立美術館で「土佐の考古学展」を開催
平成13年10月	国庫補助事業により本館、収蔵庫を建築完成 展示会等の広報普及事業の本格的開始
平成18年4月	指定管理者制度導入により高知県立埋蔵文化財センターの指定管理者となる 調査課に企画調整班を新設し、調査4班体制に組織改編
平成19年4月	財団職員1名を県教育委員会文化財課へ派遣 平成21年3月で2カ年の派遣終了
平成23年4月	現在に至る

II 発掘調査事業

1. 発掘調査事業の概要

(1) これまでの発掘調査

平成3年度から平成22年度までの20年間にわたり、国、県の開発事業を中心に埋蔵文化財保護のため発掘調査事業を実施されてきた。この間の総発掘調査面積は937,386㎡に及び、調査を行った件数も442件と県下の埋蔵文化財発掘調査の90%以上を占めており、高知県における発掘調査の大半を埋蔵文化財センターが実施している。

埋蔵文化財センターが設置される平成3年度以前は、県教育委員会において発掘調査が直接行われており、昭和55年から開始された高知空港ジェット化による空港拡張整備事業に伴う田村遺跡群の調査が高知県における緊急調査の本格的な始まりであった。人員体制もこの田村遺跡群の調査開始により整備され、以後、数少ない人員ではあったが、調査員が皆無であった市町村に関する調査も含め県下の発掘調査を行ってきた。昭和60年度の報告書刊行により田村遺跡群の発掘調査は終了したが、昭和61年度からは県教育委員会文化振興課に埋蔵文化財班が新設され、本格的な埋蔵文化財保護への取り組みが開始され、まず基礎的な調査として県下の遺跡詳細分布調査が10カ年計画による国庫補助事業として着手された。また、中村市において建設省関係の中筋川（四万十川支流）河川改修工事に伴う発掘調査が継続的に行われるなど、引き続き開発に伴う緊急調査についても進められた。昭和から平成にかけては中筋川河川改修に伴う調査を中心に国、県事業に伴う発掘調査が行われたが、県下の市町村に埋蔵文化財専門職員の配置がないことから、ほ場整備事業等に伴う市町村への調査指導・派遣調査が多くを占め、年間を通じて各地の調査にあっていた。

平成3年度の埋蔵文化財センター開設以降も、財団の基金が県及び市町村、民間からの出損金によることもあり、発掘調査受託事業として市町村及び民間の開発に伴う調査を行うこととなり、平成8年度までは一定量の受託事業として進められていたが、平成9年度以降は国の大規模調査が本格的に開始されことにより、市町村や民間からの依頼を受けた調査は減少し、一部の調査指導は行われていたが、平成13年度以降は国、県の受託事業のみとなった。

平成3年度以降の埋蔵文化財センターの発掘調査事業は、やはり国の大規模開発に伴う調査が中心となっており、平成4年度から調査が開始された高規格道路である中村宿毛道路、平成5年度からは四国横断自動車（南国～伊野）、平成6年度には国道195号改良（あけぼの道路）、平成7年度には四国横断自動車道（伊野～須崎）、平成8年度には高知空港拡張整備及び土佐市バイパスの調査が開始され、大規模な調査が一気に進められた。また、平成11年度からは平成10年度の高知大水害を受けて新川川関連河川改修に伴う調査が開始された。平成15年前後にはこれらの大規模開発に伴う発掘調査調査報告書も順次刊行され、大規模調査のピークが一端は終了したが、これまで調整が行われていた四国横断自動車道（須崎～窪川）、高知市～安芸市間の高規格道路である東部自動車道（高知南国道路・南国安芸道路）、波介川（仁淀川支流）河口導流事業に伴う調査が平成15・16年度から本格化し、さらには平成17年度より高知西バイパスと用地買収等により一時中断中であった国道195号改良（あけぼの道路）、平成18年度には国道195号に接続する都市計画道路等の事業に伴う調査が再び増加し、現在に至っている。

(2) 大規模調査

これまでに埋蔵文化財センターが実施した調査の中心は、先に記載とおり国、県等の大規模開発に伴う発掘調査であり、広い範囲にわたる継続的調査により大きな成果を得ることができた。次にこれらの主要な大規模調査の概要を述べる。

① 中村宿毛道路（中筋川河川改修）

中村宿毛道路は高知県西部、幡多地域の拠点である中村市（四万十市）と宿毛市を結ぶ高規格道路であり、国道56号線と中筋川が流れる中筋地溝帯の山麓部を中心に路線が計画され、中村市具同では具同中山遺跡群も含まれていた。具同中山遺跡群はこれまでの河川改修工事等により祭祀遺物が発見され、河川沿いの古墳時代の祭祀遺跡として知られており、中村宿毛道路建設以前に行われた河川改修に伴う昭和60～平成3年度の発掘調査においても土製模造品、小型手づくね土器、須恵器、土師器等による祭祀ブロックが数十カ所確認され、5～6世紀を中心とする大規模な祭祀遺跡群であることが判明していた。また、古墳時代以降にも古代、中世の遺構、遺物が検出され、特に中世では多量の瓦器や輸入陶磁器の出土とともに火葬墓や台状墓等も検出され、幡多地域における中世の様相を明らかにする重要な遺跡であることが確認されていた。

今回の中村宿毛道路建設では、中村市から宿毛市平田間が事業化されており、この間の路線計画



大規模発掘調査事業位置図

地内について行われた分布調査の成果を基に調整が行われ、さらに必要な部分の試掘確認調査が行われた結果、最終的に発掘調査を行うこととなった遺跡は12カ所であり、平成4～17年度にかけて現地の発掘調査が順次行われた。平成4年度にはハナノシロ城跡、江ノ古城跡の2カ所の中世城跡と西ノ谷遺跡の調査が行われ、西ノ谷遺跡では弥生時代前期の土器や木器が出土し注目された。平成5年度には船戸遺跡の調査が行われ、縄文時代



具同中山遺跡群遠景

後期から古墳・古代・中世にいたる各時代の遺構、遺物が検出されており、中世では溝跡より呪符や瓦器、碇石等の出土が見られ、幡多地域の流通を知る上で重要な資料を得ることができた。平成7年度からは工事進捗に合わせ具同中山遺跡群の調査が継続的に行われ、古墳時代の祭祀跡を中心に、弥生・古代・中世の各時代の遺構、遺物が検出され、広範囲に展開する具同中山遺跡群の全体像が確認されてきた。さらに、平成8年度には浅村遺跡、平成9年度には中世城跡である間城跡、また、平成12年にも久木ノ城跡の調査が行われ、平成10年度には宿毛市平田において幡多地域では初の須恵器窯跡である神ヶ谷窯跡の調査も行われた。平成14年には四万十川左岸の不破遺跡の調査が行われ一連の調査が終了したが、平成17年度には四万十川右岸において工事用道路等の建設による坂本遺跡の調査が急遽行われ、県内では初見の中世の瓦窯3基と寺院跡考えられる遺構が検出され、遺跡の背後に存在する香山寺跡や一条氏との関連なども含め、四万十川及び中筋川の川運や交易と在地勢力の関わりについて考える上で重要な資料が積み重ねられた。また、中村宿毛道路建設に並行して行われた県道改良工事に伴う具同中山遺跡群の調査では、規模の大きな古代の建物群等が検出され、国の事業による発掘調査と合わせ、大きな成果を得ることができた。

② 四国横断自動車道（南国～伊野間・伊野～須崎間・須崎～窪川間）

四国横断自動車道の一部である高知自動車道は、昭和62年10月に大豊IC～南国IC間が最初に開通し、平成4年1月の大豊IC～川之江JCT間の開通により高松・松山自動車道と接続し、昭和63年に開通した瀬戸大橋を経由して本州とつながることとなった。南国ICから西方への延伸に伴う埋蔵文化財の取り扱いについては平成元年頃より調整が行われ、まず、南国IC～伊野IC間から着手されることとなった。高知自動車道の中では、川之江JCT～南国IC間は四国山地を貫く山岳道路であり、トンネルと橋梁が多くを占めていることから埋蔵文化財の調査も飼古屋岩陰遺跡、口ミノヲ谷古墳の2件のみであったが、南国IC～伊野IC～須崎ICの間は南国市、高知市、いの町、土佐市の山麓部から平野部にかけて路線が計画されており、多くの埋蔵文化財包蔵地が対象となると考えられていた。

高知自動車道建設に伴う埋蔵文化財の調査は、平成4年度の栄エ田遺跡の試掘調査から開始された。以後、平成8年度にかけて南国IC～伊野IC間の栄エ田遺跡、長畝古墳群、尾立遺跡、福井遺跡、奥谷南遺跡の調査が行われた。これらの遺跡の調査の中では、奥谷南遺跡において高知県初の本格的な旧石器の出土や縄文時代草創期、弥生時代の高地性集落及び墓域、古代寺院と窯跡、近世儒墓

等が発見され、大きく注目された。また、長畝古墳群の調査においても県内で貴重な中期古墳や特異な横穴式石室が確認され、大きな成果を得ることができた。

平成7年度からは伊野IC～須崎IC間の調査が開始されたが、埋蔵文化財包蔵地がほとんど確認されていないこともあり、路線対象地の試掘確認調査が順次行われた。その結果、新たに発見された八田神母谷遺跡、八田奈路遺跡、天崎遺跡、居徳遺跡群、北高田遺跡、北地アリノ木遺跡、西鴨地遺跡、飛田坂本遺跡の8遺跡について、平成10年度にかけて調査が行われた。中でも天崎遺跡の中世に再埋納されたと見られる銅矛4本の出土や居徳遺跡群における縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての遺物群や土偶、木胎漆器、殺傷痕のある人骨、古墳時代の祭祀跡など注目すべき調査結果を得ることができた。また、北高田遺跡では弥生時代中期



奥谷南遺跡近景

の集落、西鴨地遺跡の石帯の出土など他の遺跡でも新たな資料が確認され、これまで遺跡の少なかった土佐市において非常に大きな成果が上げることができた。

平成11～15年度にかけては、これまでの発掘調査の整理作業及び報告書の刊行を行ってきたが、平成16年度には須崎IC～窪川IC間の調査が開始された。須崎IC～窪川IC間は南国IC～須崎ICと異なり、国道56号線最大の難所である久礼坂を通過し、窪川台地に抜ける路線であることから、再び長大なトンネルと橋梁による区間であるため、本調査が行われたのは土佐久礼IC部分にかかる坪ノ内遺跡及び西山城跡の2遺跡であった。坪ノ内遺跡では中世を中心とする集落跡が確認



西山城跡遠景

され、輸入陶磁等の出土や立地から土佐湾の海運、交易に関わる遺跡ではないかと推測された。西山城跡は多数の堀切が確認された単郭の山城であり、詰部では備前の大甕や青磁等の出土があり、坪ノ内遺跡等と関連した機能を持つ中世城跡と考えられるなど、中土佐町の新たな歴史資料を得ることができた。また、窪川台地上ではオープンカットされる山麓部と谷部について数カ所の試掘確認調査が行われたが対象となる面積も少なく、本調査には至らなかった。

③ 高知空港拡張整備

高知空港は、長年の悲願であったジェット機就航に向けた2,000m滑走路新設のために第1次の拡張整備が計画され、昭和54～58年度にかけて発掘調査が行われた。空港拡張範囲の北には高知県を代表する弥生時代前期の遺跡である西見当遺跡をはじめとして、守護代細川氏の居館と言われている田村城館等が隣接し存在していたが、水田の広がる拡張範囲内においては埋蔵文化財包蔵地は確認されていなかった。しかし発掘調査の結果、縄文時代後期の遺物包含層、弥生時代前期初頭の集落跡、弥生時代中～後期の集落跡、古代の建物群、そして中世の方形屋敷跡等の遺構、遺物が検出され大きな注目浴び、新たに田村遺跡群として位置付けられた。田村遺跡群の発掘調査は、高知県初の大規模緊急調査であり、調査開始にあたっては専門職員の採用などの体制整備も行われ、以後の高知県における埋蔵文化財保護の出発点となった発掘調査であった。

第1次拡張後、ジャンボジェット機の就航を可能とするため滑走路の500m延長が再び計画され、平成8年度から第2次の拡張整備に伴う発掘調査が行われた。調査は平成13年度までの5カ年間にわたり、調査面積は約15万4千㎡におよんだが、今回の2次調査では西見当遺跡の範囲も含め弥生時代前期の環濠集落及び中～後期の集落のほぼ全域の発掘が行われ、竪穴建物跡約440棟、掘立柱建物跡約240棟、土坑約2,800基、大溝等が検出され、膨大な量の弥生土器とともに石器、鉄器等も出土し、集落内に埋納された銅矛1本も検出された。さらに前回と同様にコ形の配置を持つ古代の建物群も確認され、田村荘に関連する遺構群の存在が明らかとなった。また、中世の遺構、遺物は少なかったが、田村城館の南辺に調査区がかかっており、土塁及び堀の一部の確認が行われた。拡張範囲の北側に伸びる市道地下道化工事に伴う調査では、弥生時代前期末～中期前半の竪穴建物跡が検出されており、当該期の集落がさらに北方へ広がっていることが判明した。今回の第2次調査により、田村遺跡群が高知県最大の拠点集落であり、広範囲はにおよぶ大規模な集落遺跡であることが再確認され、平成15年度には報告書刊行し調査を終了した。



田村遺跡群全体モザイク航空写真

④ 土佐市バイパス

国道 56 号線は高知市を起点として、高知県西部地域の主要な都市である土佐市、須崎市、四万十市、宿毛市、さらに愛媛県宇和島市、西予市、大洲市等を経由し、松山市を結ぶ大動脈であり、交通量も多く、県内では特に土佐市や須崎市周辺において渋滞が多く発生していた。これらの交通対策として、国土交通省により土佐市の市街地である高岡町の北を迂回するルートによるバイパス建設が計画されたため、対象地における埋蔵文化財の取り扱いについて調整が行われた。高速道建設時と同じく周知の埋蔵文化財包蔵地は一部しか確認されていなかったが、大規模な開発であるため平成 7 年度から事前の試掘確認調査が行われ、以降、平成 15 年度にかけて試掘確認調査と本調査を並行しながら発掘調査が行われた。調査が行われた遺跡は、光永・岡ノ下遺跡、天神遺跡、林口遺跡、蓮池城跡北面遺跡、野田遺跡、京間遺跡の 6 遺跡であり調査面積は約 4 万 7 千㎡におよぶものであった。



光永・岡ノ下遺跡遠景

各遺跡の発掘調査は用地買収や家屋の立ち退き等の状況により複数年にわたり分断しながら行われたが、何れの遺跡においても中世～近世の遺構、遺物を中心に古墳時代や古代、一部には縄文時代や弥生時代の遺構、遺物も見られ、仁淀川により形成された自然堤防状の微高地を中心に集落や屋敷跡が展開していると考えられる。注目される遺構、遺物としては光永・岡ノ下遺跡の土坑墓出土の方形湖州鏡や天神遺跡の土坑出土の完形青磁碗、林口遺跡の溝跡より出土した蝙蝠扇、野田遺跡の土坑墓出土の和鏡等、県内初出土の遺物も多く、中世の屋敷跡と墓跡、集落の様相を知る上では大きな成果を得ることができた。また、野田遺跡では古代の軒丸瓦、丸瓦、平瓦が出土しており、寺院自体は検出されていないが、高岡郡内では初の古代寺院の存在が確認されている。



湖州鏡



蝙蝠扇



青磁碗

⑤ 新川川河川改修

平成 10 年 9 月に高知県を記録的な豪雨が襲い、国分川や新川川の堤防越流などにより高知市や春野町などを中心に大きな水害に襲われた。この対策として国分川及び新川川の河川改修が翌年度から行われることとなり、新川川流域については平成 11・12 年度に試掘確認調査が行われ、平成 13・14 年度にかけて北川内遺跡、東江曲遺跡、西分増井遺跡、馬場末遺跡などの発掘調査が進められた。中でも西分増井遺跡は、これまでのほ場整備に伴う調査により弥生時代前期から古墳時代前期の竪穴建物跡等が検出されており、仁淀川左岸の春野町を中心とする吾南平野の拠点的な集落

遺跡と考えられていた。今回の調査においても弥生時代中期から古墳時代前期を中心とする時期の竪穴建物跡、土坑等が検出されており、集落の広がりを確認することができたが、注目される調査成果としては多量の青銅器や鉄器の出土があげられる。青銅器はすべて破片であるが、銅鏡、銅矛、銅鐸が認められ、多種類の青銅器がまとまって出土した例は他に見られないものである。青銅器のほとんどは包含層出土であるが、銅矛片は弥生時代中期後半の竪穴建物跡からの出土であり、それまで重要な祭器であった青銅器が破片として多種出土する状況は、弥生時代後期にかけての弥生社会の変化を現しているものと考えられる。また、鉄器とともに1,000点以上の鉄片も出土しており、弥生時代後期から古墳時代初頭における県内初の鉄器生産に関わる遺跡であることが判明している。このような青銅器と鉄器の出土状況は、物部川流域の拠点集落である田村遺跡群との違いを見せており、仁淀川水系における西分増井遺跡の特徴と重要性を強く示しているものと考えられる。



西分増井遺跡青銅器

⑥ 国道195号（あけぼの道路）・都市計画道路

国道195号線は、高知市より香美市土佐山田町を經由し徳島県へ通じる国道であり、香長平野の北部を貫く主要な道路であるが、南国市後免までの間は電車軌道と並行しており、渋滞等が発生していた。このため土佐山田町までの間において新たな新道の建設が計画され、工事に伴う発掘調査が平成6年度より開始された。調査は用地買収等の状況に合わせ、小籠遺跡、下末松遺跡、三ツ又遺跡、陣山遺跡、陣山北三区遺跡、五反地遺跡、辺路石南遺跡、小籠北遺跡の8遺跡の発掘が順次進められたが、平成10年度に一端終了した。調査が再開されたのは平成17年度であり、平成21年度までの間にミトロ遺跡及び土島田遺跡の発掘が行われた。なお、土島田遺跡については遺跡範囲が拡大したこともあり、新たに祈年遺跡として名称変更が行われている。

これらの遺跡の調査は香長平野北部を東西に横断するものであり、特に長岡台地上における一連の大規模調査となり、これまでにない成果を得ることができた。小籠遺跡では弥生時代前期の大溝とともに弥生時代後期から古墳時代初頭の竪穴建物跡群が検出され、長岡台地西端に立地する大規模集落の存在が明らかとなった。また、陣山遺跡等では近世を中心に遺構、遺物が検出され、江戸時代における農村集落の状況を知ることができた。



祈年遺跡遠景

平成17年度から再度開始された調査では、高知市と南国市の境界に位置するミトロ遺跡の発掘が行われた。ミトロ遺跡で

は弥生時代中期から後期の竪穴建物跡、溝跡等が検出されているが、標高約 3.5m と古浦戸湾に面する低地に位置しており、これまで弥生集落の存在は予想されていなかった地域からの新たな集落遺跡の発見となった。祈年遺跡では約 26,000㎡の調査が行われ、長岡台地上ではこれまでにない大規模な発掘調査として、弥生時代から古墳時代の集落、古代の建物群、官道跡など大きな成果を得ることができた。弥生時代から古墳時代にかけての竪穴建物跡は約 70 棟ほど検出され、これまでほとんど確認されていなかった古墳時代後期の竪穴建物跡も集中して発見されている。弥生時代後期には多くの壺棺墓が同時に検出されており、集落内における埋葬が確認され、集落と墓域を考える上での資料が蓄積された。また、古代においては建物群とともに南北方向の官道ではないかと考えられる道路跡も確認されており、長岡台地の北には土佐国府跡、土佐国分寺跡も位置することからも重要な遺構と言える。



祈年遺跡壺棺墓

国道 195 号改良工事と並行し、香美市土佐山田町では国道 195 号と接続する都市計画道路建設も行われ、平成 18～20 年度に伏原遺跡及びひびのきサウジ遺跡の調査が実施された。土佐山田町は南国市とともに県内でも遺跡の多く所在する地域であり、南国市に続く長岡台地上には弥生時代後期の集落であるひびのき遺跡が知られている他、山麓部を中心に後期古墳や須恵器窯跡が集中している。今回の調査では伏原遺跡を中心に弥生時代後半から古墳時代の竪穴建物跡や壺棺墓が検出されており、弥生時代後期の竪穴建物跡は円形から多角形へと変化する状況が見られた。また、集落の東に隣接し壺棺墓群が確認され、集落内に壺棺墓群が存在する祈年遺跡との違いが見られた。

⑦ 波介川河口導流

波介川は仁淀川の右岸、土佐市から仁淀川本流に流入する支流であるが、流路の高低差が少ないことから、これまで度々氾濫を繰り返していたため抜本的な洪水対策が求められ、仁淀川河口までの導水工事が計画されていた。しかし、導水路が建設される新居地区は水田、ビニールハウス等が広がる農業地域であり、長らく導水事業には反対の立場を取っていたが、平成 15 年度には地元同意も得られ、工事着手となった。計画対象地の埋蔵文化財包蔵地としては、小規模な城跡である新居城跡が存在するのみであったが、大規模な事業計画であることから平成 16 年度に急遽、試掘確認調査を行った結果、広範囲に所在する遺跡が確認され、北ノ丸遺跡、上ノ村遺跡として平成 16～21 年度の間に発掘調査が行われた。

平成 16 年度に調査が行われた北ノ丸遺跡の立地は谷間部の低湿地であり、古墳時代を中心とする多様な木製品が出土している。木製品には、建築材、農具、船材、曲物、槌子、負い子等が見られ、注目すべき木製品としては、県内初の衣笠の鏡板、琴が出土している。琴は共鳴槽を備えるものであり、鏡板の存在とともに古墳時代の祭祀に関連するものと考えられる。平成 17 年度からは上ノ村遺跡の調査が開始され、平成 21 年度までの間に約 64,000㎡の発掘が行われた。上ノ村遺跡では、縄文時代晩期から古代、中世を中心とする多量の遺構、遺物が検出さ



北ノ丸遺跡琴



上ノ村遺跡遠景

ないかと考えられる突出部が存在している。堤防遺構であることから出土遺物も極めて少なく、時期の確定は難しいが、江戸時代前期の陶磁器が少量ながら出土していることもあり、総合的に判断すると近世前期にさかのぼる堤防遺構と考えられ、全国的にも例を見ないものである。

れており、最終段階では近世の堤防遺構が非常に良好な状態で確認され、大きな注目を浴び、多大な成果を上げることができた。縄文時代晩期土器群は包含層出土ではあるが、これまでにない一括資料として縄文から弥生への変化を知る上で重要な資料であり、整理報告書作成が進められている。古代から中世にかけても建物群とともに土師器、瓦器、青磁等の輸入陶磁器が多量に出土しており、仁淀川河口における立地からも、四万十川における具同中山遺跡群と同様に川津としての機能を持った物流の拠点としての重要な遺跡の性格が考えられる。近世堤防遺構は石積みの堤防及び石積み護岸遺構からなり、護岸部には船着き場では

⑧ 東部自動車道（高地南国道路・南国安芸道路・高知西バイパス）

高知県東部への道路整備事業としては、高知市～安芸市間の高規格道路として四国横断自動車道高知 I C から直接接続する東部自動車道が計画され、事業計画との調整により平成 16 年度より調査が開始された。東部自動車道は、高知市から物部川までの間が高知南国道路、物部川以東、安芸市までの間が南国安芸道路として工事区間が設定され、各々の区間で並行して調査が進められており、大きな成果を得ることができている。

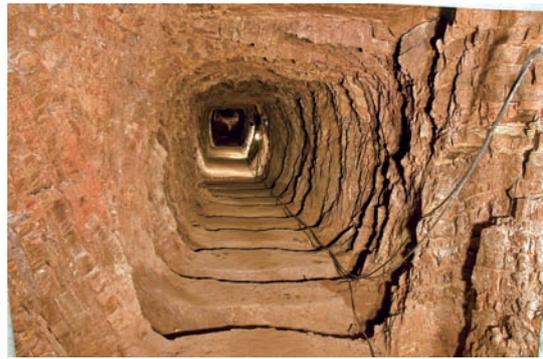
高知南国道路、南国安芸道路の両区間ともに大規模開発であるため、事前の試掘確認調査を行いつつ、年度を追って本調査が行われており、現在のところ、高知南国道路では西野々遺跡、関遺跡、向山戦争遺跡、田村北遺跡、田村西遺跡が順次実施され、西野々遺跡では報告書刊行までが行われている。南国安芸道路においても口槇ヶ谷遺跡、坪井遺跡、花宴遺跡、徳王子大崎遺跡、徳王子前島遺跡、徳王子広本遺跡の調査が行われ、現在は 23 年度へかけて東野土居遺跡の調査が精力的に行われている。

高知南国道路の西野々遺跡では平成 16～19 年度に調査が行われ、弥生時代中～後期の竪穴建物跡約 70 棟が検出されてお



西野々遺跡空中写真

り、田村遺跡群を除けば県内でも最大級の集落が確認された。また、古代においても掘立柱建物跡約90棟が検出され、大規模な官衙群の存在が考えられるとともに道路跡と見られる遺構も検出されており、これまで確認例の少なかった古代の遺構群について大きな成果を得ることができた。中世においても建物跡群及び方形区画墓等が検出され、屋敷跡及び集落の存在が確認されている。関遺跡の調査は平成20～21年度に行われ、弥生時代から古代の溝跡等の遺構を中心とし、近世の遺構等も検出され、集落の一部と考えられる。向山戦争遺跡は太平洋戦争時に構築された塹壕等であり、国土交通省と協議の結果、地域の歴史を知る上で重要な近現代における戦争遺跡として調査が行われた。地域の関心も高く、現地説明会には600人ほどの参加者があり、以後も学校の見学等の問い合わせもあり、今後の近現代遺跡の取り扱いに大きな影響を与える調査となった。田村北遺跡、田村西遺跡は田村遺跡群の北方及び西方に位置する遺跡であるが、今回の調査では、遺構密度はそれほど高くないものの、竪穴建物跡等が検出されており、田村遺跡群周辺における集落分布に新たな資料を加えるものである。なお、田村北遺跡については引き続き23年度にも調査が行われる予定である。



向山戦争遺跡坑道

南国安芸道路では平成16年度に口槇ヶ谷遺跡の調査が開始され、以降、花宴遺跡、坪井遺跡、徳王子広本遺跡、徳王子前島遺跡、徳王子大崎遺跡の調査が用地買収の状況に応じて順次進められた。口槇ヶ谷と坪井の両遺跡は香南市夜須町に所在しており、古代から中世を中心とする遺構、遺物が検出され、これまで発掘調査が行われていなかった夜須町の歴史を考える上で貴重な資料を得ることができた。花宴、徳王子広本、徳王子前島、徳王子大崎の各遺跡は、香南市香我美町東部に所在しており、平成17年度から平成21年度にかけて調査が行われている。花宴遺跡では弥生時代中～後期の溝跡、流路跡等が確認されており、後期の流路では堰跡が検出され多量の弥生土器とともに竪杵、梯子、鋤、槽などの木製品が出土しており、注目された。徳王子広本遺跡では弥生時代及び古代、中世の遺構、遺物が検出され、中心となるのは中世の建物群とそれを囲む溝跡であり井戸も確認されている。徳王子前島遺跡では弥生時代と古代の流路を中心とした遺構が検出され、花宴遺跡と同様に木製品が多く出土している。古代の木製品には斎串や人形などの祭祀的な遺物が見られるとともに県内では初の古代木簡が出土している。徳王子大崎遺跡は北から延びる丘陵嬢に立地



徳王子大崎遺跡竪穴建物跡



徳王子前島遺跡流路跡

する遺跡であり、弥生時代後期の竪穴建物跡と中世の屋敷跡が検出されている。後期の竪穴建物跡は多角形から方形の形態であり、弥生時代後期集落の特徴を見せている。平成 21 年度からは香南市野市町の東野土居遺跡の調査に着手し、平成 22 年度には遺跡東部の調査区で弥生時代後期から古墳時代初頭と古墳時代後期の 2 時期の集落跡が検出されている。竪穴建物跡は約 80 棟が確認されており、県下でも最大級の集落規模と考えられ、物部川東岸の野市台地の中心的集落と見られる。また、密集する竪穴建物跡の東側には壺棺群も検出されており、集落と墓域が近接している状況も見られる。平成 23 年度にも引き続き調査が計画されており、集落の全体像も確認されると考えられる。古代においては、建物群とともに円面硯等も出土しており、官衙的な性格が伺えると同時に瓦類も出土しており、遺構は検出されていないが古代寺院の存在の推定され、物部川東部の中心となる遺跡と考えられる。



東野土居遺跡軒丸瓦



東野土居遺跡庄内式土器

高知西バイパスはいの町内の国道 33 号線の混雑を緩和するために計画され東半部はすでに開通しているが、今回調査が行われたのは、これに続く西半部であり、宇治川の南、山麓部を通過する路線となっている。調査は平成 19 年度から開始され、仁淀川の西岸、鎌田地区の城ヶ谷山遺跡、鎌田遺跡、貢山城跡に続き東岸の天神溝田遺跡、平成 22 年度にはバーガ森北斜面遺跡の調査が行われている。平成 20・21 年度に行われた天神溝田遺跡では古代から中世を中心とする遺構、遺物が検出されており、中世では屋敷跡とともに備前壺の埋納遺構が発見された。備前壺の中には土師質土器杯 20 個とともに渡来銭約 400 枚が入れられており、さらにその上には和鏡も置かれ、単なる埋納銭以外の祭祀的な性格を持つものと考えられる。バーガ森北斜面遺跡では標高 50 ～ 60 m の急峻な斜面部に竪穴建物跡や段状遺構が検出されており、弥生中期後半を中心とする土器や石包丁、さらに鉄斧、鉄族などの鉄製品も出土しており、高知県では数少ない高地性集落の調査事例として注目される。



バーガ森北斜面遺跡空中写真

Ⅲ 広報普及事業

1 平成3～13年度の広報普及事業

平成3年度の埋蔵文化財センター開設時には発掘調査が業務の中心であり、平成11年度に本格的な広報普及事業として出前考古学教室が開始されるまでは、現地説明会の実施や研修会への講師派遣を中心に活動しており、展示施設がないため他の施設との共催等による展示会等が行われている状況であった。展示会としては平成3年度に具同中山遺跡群の調査成果の展示会「具同中山遺跡群調査報告会－古代のロマンにふれあおう－」が中村市で行われ、平成5年度にも同じく中村市で「四万十の歴史を掘る」と題して船戸遺跡の調査成果中心とした展示会が開催され、好評を得ることができた。また、平成3～5年度の高知県立歴史民俗資料館の考古関係の企画展「土佐を掘る」、「土佐の戦国時代を掘る」、「土佐の古墳を掘る」を共催事業とし行い、これまでの調査成果の公開を行うことができた。平成6年度には平成4年度に調査が行われた柳田遺跡について、発掘調査の経緯となった商業施設を会場として「柳田遺跡展－今、あきらかとなる朝倉の原始・古代－」の展示会が開催され7,500人の入場者があった。平成7年度には本山町に対し調査員派遣調査として発掘調査が行われた松ノ木遺跡について「特別企画展－縄文からのメッセージ－」への展示協力を行った。また、平成7年度からは職員専門研修が年2回の計画で開始され、以後、現在まで継続して行われており、全国埋蔵文化財法人連絡協議会の研修会も行われた。平成8年度以降は大規模調査が本格化し、展示会等を行うことができなくなったが、平成9年度には、これまで行われていた新たな派遣教員への研修を市町村職員にも範囲を拡大し実施することとなった。平成10年度には郵政省のお年玉寄付金の配分を受け、埋蔵文化財情報の公開・検索性の情報管理システムを導入し、発掘調査情報と資料整備を進めることとなり、平成11年度にはインターネットにホームページを開設し、最新情報の発信を行えるようになった。

平成11年度には、これまで大規模調査対応により行われていなかった展示会等の広報普及事業を再開するとともに、教育の場での公開活用を図るために、新たに出前考古学教室を開始することとなった。出前考古学教室は小学校を中心に土器や石器の現物資料を教室に持ち込み、地域の歴史と遺跡について授業を行うものであり、同時にミニ展示会も開催



市町村職員研修



平成11年度美術館展示会



平成12年度美術館展示会

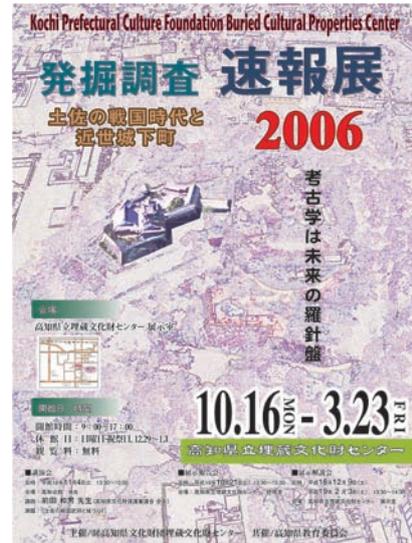
し、学校教育の場に埋蔵文化財保護の浸透を図ろうとするものであった。出前考古学教室は現在も拡大し行われており、例年申し込みが多く、学校へも定着した事業として好評を得ている。また、再開された展示会としては、平成11年度に宿毛市において「最新土佐の発掘展」を共催で行った他、田村遺跡群の調査成果等を中心とした本格的な展示会として高知県立美術館を会場に「高知の遺跡速報展－過去から未来へ－」を開催し、約4,000人の入場者があった。平成12年度においても、高知県立美術館を会場として「土佐の考古学展－流域の遺跡と考古学－」と題して物部川、仁淀川、四万十川の3大河川の流域の遺跡を中心とした展示会を再び開催し、入場者数も約8,600人と平成11年度から倍増しており、2年連続で好評を得ることができた。また、高知歴史民俗資料館開館10周年関連企画展として「居徳遺跡展」を共催し、縄文土偶や木漆器等の注目される遺物の展示も行われた。

平成13年度には施設整備により本館と収蔵庫が新たに建設され、本館には小規模ながら念願であった展示室も整備され、埋蔵文化財センターにおける本格的な展示会が行えるようになった。開館記念展では、旧石器時代から近世に至るこれまでの発掘調査成果について、時代を追った展示を行った。また、特別収蔵庫も整備され、これまで課題であった木器や金属器の保存管理と活用も進めることができるようになった。

2 平成14～22年度の広報普及事業

平成14年度からはセンター本館の展示室、研修室を使用した展示会や考古学教室が行われることとなり、本格的な広報普及事業が開始された。平成14年度には企画展として、旧石器時代から弥生時代の文化交流をテーマとした「土佐の先史文化交流」を開催し、展示会に伴う関連事業として記念講演会も開催された。この展示会は安芸市教育委員会との協議の上、引き続き安芸市立歴史民俗資料館でも開催され、市町村との協力事業として多くの参加者を得ることができた。新たに開始された考古学教室は、県民の方々が参加しやすい日程として夏休み期間を中心とした8～9月の土曜日に行い、火起こし体験や展示説明を行った。また、高知県立歴史民俗資料館との共催により速報展として「居徳人骨－殺傷痕・損傷痕を有する人骨の出土－」を開催し、大きな注目を集めることができた。出前考古学教室は引き続き、学校で郷土の歴史を学習する時期である5～6月を中心に30校前後の小学校を対象に行い、学校現場の先生方にも周知されるようになった。

平成15年度の企画展としては、弥生時代に焦点をあてた「弥生時代末の高知を考える」が開催され、県内だけではなく県外の関係機関の協力も得て各地の県外資料の展示も行うことがで



速報展ポスター



巡回展「続・発掘へんろ」ポスター

きた。また、記念講演会やセンターでの考古学教室、出前考古学教室等も引き続き実施され、広報努力により参加人数も増加傾向となっている。

平成16年度には、これまでの企画展だけではなく、県が行っている四国4県合同事業の中で4県の埋蔵文化財センターと松山市埋蔵文化財センターを加えた5施設の共同展示事業として第1回四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろ」が実施された。遺



企画展1 考古資料からみた高知県の歴史

跡で巡る伊予・土佐・讃岐・阿波をテーマに各県の資料を一同に集め展示公開するものであり、見学者からも評価も高く、今後も継続的に行う事業として決定された。企画展としては、報告書刊行も終了した田村遺跡群の調査成果を公開するため「田村遺跡展－稲作と環濠集落－」を開催した。田村遺跡群の調査成果は多岐にわたるため、今回の展示は「土佐の米作りの開始と村の発展」をテーマとして弥生時代前期の資料を中心に行い、次年度には弥生時代中～後期の集落をテーマとした展示が計画された。また、他の広報普及事業についてもより興味を持って内容となるよう工夫、改良しながら行われた。

平成17年度においても、昨年度から開始された四国地区埋蔵文化財センター巡回展の第2回として古代を中心とした「発掘へんろ－義経とその時代－」開催された。また、同時に四国4県の最新発掘調査資料を展示する速報展も併設された。巡回展の開催と並行して本年度は「四国はひとつ」4県連携施策として企画された各県ごとの四国を語る記念講演会では、本県出身の直木賞作家山本一力氏による講演が美術館ホールで行われ、400人を越える参加者があった。企画展では昨年度の展示に引き続き田村遺跡群の弥生時代中～後期の集落と古代を中心に「弥生人の足跡を探る－高知県の弥生遺跡と田村遺跡群－」が開催され会期中に2回の展示解説と記念講演会も行われた。考古学教室は夏休み期間の開催時期もあり、子ども考古学教室の名称に変更し開催され、出前考古学教室とともに子ども、生徒を中心とした普及事業の中心事業として取り組みが行われた。出前考古学教室はこれまで前半期を中心に行ってきたが、年度後半にも開催依頼が多くなったため、本年度より前期と後期に分けて実施することとなった。前期はこれまでと同様に小学校を対象に開催校



発掘調査報告会



記念講演会



親子考古学教室

助けを受け、来年度以降も継続的に行うこととなった。

平成 18 年度からは指定管理制度導入により、高知県立埋蔵文化財センターの指定管理者として、施設の管理運営及び広報普及事業を行うこととなった。これに伴い調査課の人員体制も変更され、調査第 5 班を廃止し、新たに企画調整班が設置され、広報普及事業を担当することとなった。広報普及事業の内容も見直され、展示公開についてはこれまでの企画展、巡回展の 2 回の展示会を年度前半の常設展と夏休み期間を中心とした巡回展、後半の速報展の年 3 回に増やし、展示会の内容充実を図った。常設展は「土佐の歴史散歩」のタイトルで時代を追った考古資料の展示を行い、巡回展は第 3 回として「発掘へんろー癒しと祈りー」をテーマに祭祀関係を中心とした資料の展示が行われた。また、本年度の巡回展は松山市考古館と東京国立博物館との相互貸借事業に併せ四国連携事業として東京国立博物館での展示が行われ、四国外の共同展示として他の地域の埋蔵文化財センターからも注目された。速報展では NHK 大河ドラマ「功名が辻」に併せ「土佐の戦国時代と近世城下町」と題した展示が行われ、これまでの中世山城の調査成果や高知城跡を中心とした近世高知城下町の資料が公開された。展示期間が 10 ～ 3 月と長期であることから前半を戦国時代、後半を江戸時代と展示内容を替えることにより、来館者の興味を高めることができた。展示会以外の事業は公開講座として、これまでの子ども考古学教室を親子考古学教室として拡大し、セ



古代ものづくり体験教室

ンター以外でも香美市、須崎市、芸西村の 3 市町村と共催事業として実施され、定員を上回る申込みがあるなど、参加者の人気の高い講座となっている。また、本年度より広報普及事業のさらなる充実を図るため、新たに考古学入門講座を開催した。講座内容は「考古学への招待－高知の考古学入門－」として発掘調査や考古資料を分かりやすく解説するものであり、親子考古学講座と同様に市町村との共催事業として四万十市と南国市での開催 2 回を含め年 4 回の開催を行った。さらに、現地へ出向き実際に遺跡を巡る遺跡見学会も新規事業として開催され、本年度は土佐国分寺跡や土佐国衙跡、比江廃寺跡等が集中する南国市北部の比江・国分地域を対象に巡回し、遺跡解説を行った。出前考古学教室も引き続き前期と後期の 2 回に分けて行われたが、これまでの開催校が 30 校程度

であったところを前期 25 校、後期 25 校の 50 校開催へ増加し開催希望への対応を図ったが、予定を上回る申込みがあった。参加生徒数も開催回数の増加により、これまでの 1,000 人前後が 1,800 人近くとなり、大きく増加した。

平成 19 年度は指定管理業務 2 年目であり、広報普及事業のさらなる充実を目指し、年 4 回への展示会の増加、公開講座としても、発掘調査報告会、先生のための考古学教室、古代ものづくり体験教室を新たに開設した。展示会は第 4 回の四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろー四国の装飾品ー」を開催し、縄文時代から平安時代の装飾品を中心とした展示が行われ、各県の貴重な出土品を見ていただくことができた。これまで速報展として行われてきた展示会は企画展「道路開発であらわれた遺跡展」として継続的に行うこととし、本年度は第 1 回として中村宿毛道路関係調査の成果が一堂に展示された。また、新たに開催することとなった展示会は、特別展として特徴あるテーマ別に行うものであり、本年度は「木製品からみる古代人のく

らし」をテーマに日頃見ることのできない各種の木製品を展示し、好評を得ることができた。公開講座として新たに開始された発掘調査報告会は年 4 回の開催を計画し、調査担当者が発掘調査の内容を詳しく解説することにより、現地説明会等に参加できなかった方々にも広く調査成果を知っていただくとするものであり、毎回参加される熱心な参加者も見受けられるようになった。先生のための考古学教室は、出前考古学教室を行う中で、考古学や発掘調査の知識を身につけたいと言う先生方からの希望もあり計画され、学校現場における埋蔵文化財保護への関心を高めることを目指している。古代ものづくり体験教室についても、親子考古学講座を開催する中で参加者から希望のあった土器づくりやガラス玉づくりなどを行うものであり、大人を対象として実施することとなった。本年度はガラス玉づくりを行ったが、希望者が多く年 2 回の開催予定を追加し、3 回の体験教室が開催された。出前考古学教室は前年度と同じく約 50 校で開催したが参加生徒数はさらに増加し、2,500 人近くの参加者があった。また、展示会や公開講座の増加等により埋蔵文化財センターへの入館者も増加しており、平成 19 年度は前年度の約 1,500 人から一気に 2,000 人を越える入館者数となった。

平成 20 年度も引き続き展示会、公開講座、出前考古学教室を中心とする事業を行ったが、親子考古学教室用に県内の小中学生全員に「堀りゆう



出前考古学教室授業



出前考古学教室遺物展示



出前考古学教室火起こし体験



出前考古学教室土器焼き



出前考古学教室クッキー作り

れ、発掘調査の状況がより分かりやすく理解できるよう工夫された。公開講座の中では、チラシ配布の効果により親子考古学教室への参加希望が非常に多く、当初4回開催の予定をできるだけ開催回数を増やしたことにより、最終的には18回の開催となった。親子考古学教室は今後も夏休み期間の中心事業として実施することにより、埋蔵文化財センター自体の周知にもつながるものと考えられる。また、古代ものづくり体験教室についても参加希望が重なったため、当初計画の5回に対し7回の追加開催を行い、計12回を開催した。実施内容もガラス玉づくりを中心に勾玉づくりや土笛づくりも行い、今後の展開に備えた。

平成21年度の広報普及事業も基本構成は前年度とかわらず、年4回の展示会とともに公開講座として考古学講座、発掘調査報告会、親子考古学教室、先生のための考古学教室、発掘現場見学会が行われ、出前考古学教室も年間50校開催を計画し実施された。展示会では、これまで行われてきた巡回展は新たに「続・発掘へんろー遺跡にみる四国のすがたー」をメインテーマとして継続し、5カ年で各時代を追った展示を行うこととなった。本年度は第1回として、四国の旧石器時代・縄文時代の遺跡を取り上げての展示とともに速報展も併設し開催された。企画展2では「道路開発であらわれた遺跡展」の第3回としてあけぼの道路関連遺跡の展示が開催され、調査中である祈年遺跡の資料展示もあり、展示を見た後に現地を訪れる方もあった。特別展では古代の遺跡を中心に「紀貫之とその時代」と題して開催され、官衙関連遺跡と硯や墨書土器等の出土遺物の展示が行われた。公開講座では、やはり親子考古学教室と古代ものづくり体験教室への参加希望が多く、昨年度には大幅な追加開催を行ったことから当初より開催数を増やし受け付けたが、定員となり申込みを断る状況もあり、人気の高さがうかがえる。他の講座等においても全体的には増加傾向にあり、入館者も全体では2,800人を越え、年度当初の目標を達成することができた。

平成22年度も展示会、公開講座、出前考古学教室を中心に広報普及事業が展開された。展示会

ぜよ高知2008遺跡の館夏休み企画」の案内チラシを配布したところ大きな反響があり、親子考古学教室には前年度の約4.7倍の686人の参加があり、年間を通じた入館者も2,500人を越えるなどの成果があった。展示会では5回目となる四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろー遺跡にみる国際交流ー」が開催され、四国各地の中国鏡や輸入陶磁器が展示された。平成16年度から開始された巡回展も当初計画の5年目となり、次年度以降の開催について協議が行われ、貴重な協同事業であることから引き続き「続・発掘へんろ」としてさらに5カ年の共同展示を行うこととなった。企画展2として行われた第2回「道路開発であらわれた遺跡展」では土佐市バイパス関連遺跡の展示が行われ、県内初の資料である湖州方鏡、蝙蝠扇、埴仏や完存する龍泉窯系の青磁碗等の展示資料に注目が集まった。特別展では「古代人とまつり」をテーマに開催が行われ、四万十川流域の具同中山遺跡群や古津賀遺跡群の祭祀跡の再現展示も行われ

は「続・発掘へんろ」の第2回として弥生時代をテーマとした展示が行われ、平成23年1月には大阪府の弥生文化博物館との共同展示として2回目の四国外の展示が行われ、全国的にも注目を集める展示会と発展している。企画展2では、第4回「道路開発であらわれた遺跡展」として香美市土佐山田町で行われた都市計画道路高知山田線関連遺跡の展示が行われ、伏原遺跡などの弥生時代から古墳時代の集落資料を中心とする最新の調査成果が公開された。特別展では「土佐の古墳」をテーマに非常に特徴のある伏原大塚古墳の埴輪の展示やこれまでの古墳からの出土品が展示され、注目された。公開講座、出前考古学教室も引き続き行われ、例年と同じ規模の参観者等であったが、次年度へ向けて内容の充実と新たな展開を考えなければならない時期にも差し掛かっているものと考えられる。

展示会や公開講座、出前考古学教室などの広報普及事業とともに、平成11年度からはインターネット上にホームページを開設し、最新の情報発信に努めている。公開されている情報は埋蔵文化財情報管理システムとして、遺跡情報管理、収蔵図書情報管理、発掘調査報告書情報管理となっており、遺跡情報管理では遺跡台帳の内容を見ることができ、図書情報管理ではこれまで寄贈を受けた他県の発掘調査報告書等を中心に検索することができるようになっている。発掘調査報告書情報管理では、これまで刊行された埋蔵文化財センターの発掘調査報告書をPDFとして掲載しており、印刷物の報告書でなくても手軽に報告書の内容が見ることができ、好評を得ている。また、遺物の貸出等の様式も掲載しており、より多くの方に活用していただこう努めている。



ホームページトップ

また、研修事業としては、職員の資質向上のため県外から各分野の専門講師を招聘し、年2回の職員専門研修を平成7年度から行っており、考古学を中心とする分野と関連諸科学等の分野の研修内容を基本としている。研修の実施にあたっては県教育委員会を通じて市町村にも参加案内を行っており、県下の担当職員のレベルアップにもつながっているものと考えている。センターで行う専門研修以外には、奈良文化財研究所埋蔵文化財センターで実施される研修にも年に1～2名が参加しており、最新の調査技術や保存処置等への取り組みに役立てている。

IV 事業活動資料

発掘調査事業、広報普及事業、組織体制等のデータを資料として各項目ごとにまとめ、掲載したものです。

1 平成2～22年度発掘調査事業（職員派遣調査を含むが、平成13年度からは受託調査のみである。）

番号	調査略号	遺跡・調査名	調査地	事業名	事業者	種別	期間	面積(m ²)
平成2年度								
1	90-YH	原南遺跡	土佐山田町	学校施設整備	高知県	本調査	10～11月	924
2	90-NHZ	東崎遺跡	南国市	店舗建設	民間	本調査	1～2月	800
3	-	ひびのきサウジ遺跡	土佐山田町	宅地造成	民間	本調査	11～12月	800
4	-	後田遺跡他	春野町	春野バイパス	建設省	試掘調査	10～11月	146
平成2年度合計								2,670
平成3年度								
1	91-1GN	具同中山遺跡群	中村市	河川改修	建設省	本調査	5～10月	10,000
2	91-3KM	鹿持雅澄邸跡	高知市	史跡整備	高知市	本調査	4～5月	600
3	91-4NO	扇城跡	中村市	宅地造成	民間	本調査	5～10月	9,000
4	91-10 YSY	須江上段遺跡ヨコキ地区	土佐山田町	ほ場整備	高知県	本調査	10月	1,000
5	91-13HD	稗地遺跡	香我美町	河川改修	高知県	本調査	10～12月	500
6	91-14JM	十万遺跡	香我美町	LPガス施設	民間	本調査	10～11月	400
7	91-16 TY	今成遺跡	十和村	国道改良	高知県	本調査	10月	100
8	91-17TC	チシ古城跡	中村市	広域農道	高知県	本調査	11～12月	500
9	91-22YSM	須江上段遺跡松ノ本地区	土佐山田町	電力鉄塔建設	民間	本調査	11月	1,000
10	91-23HK	ハザマガ遺跡キシロ地区	南国市	電力鉄塔建設	民間	本調査	11月	200
11	91-27KJ	秦泉寺廃寺跡	高知市	県道改良	高知県	本調査	1～3月	150
12	91-31NY	能茶山窯跡	高知市	マンション建設	民間	本調査	2月	130
13	91-32HB	王子・西ノ芝遺跡	春野町	春野バイパス	建設省	本調査	12～3月	600
14	91-18UC	浦戸城跡	高知市	公園整備	高知市	確認調査	11～12月	70
15	91-11NS	江ノ村地区他	中村市	中村宿毛道路	建設省	試掘調査	9～12月	1,300
16	91-15NK	根ノ首遺跡	中村市	公園整備	高知県	試掘調査	10月	200
17	91-20HU	松ノ物ヶ内遺跡	南国市	施設建設	民間	試掘調査	4～5月	160
受託調査小計								25,910
18	91-5NN	野中廃寺跡	南国市	公園整備	南国市	本調査	6～7月	400
19	91-6YO	伏原大塚古墳	土佐山田町	病院建設	土佐山田町	本調査	8～9月	700
20	91-8TK	土佐国府跡	南国市	運動公園整備	南国市	本調査	8～10月	200
21	91-9NH	本村遺跡	野市町	ほ場整備	野市町	本調査	9～2月	1,000
22	91-12KB	拝原遺跡	香我美町	ほ場整備	高知県	本調査	7～10月	3,000
23	91-28TN	奈路遺跡	十和村	住宅建設	十和村	本調査	11～12月	400
24	91-34MH	堀ノ尻遺跡	本山町	町道改良	本山町	本調査	3～4月	250
25	91-35KB	美良布遺跡	香北町	施設建設	香北町	本調査	4月	50
26	91-2YS	芳原城跡	春野町	農地造成	個人	確認調査	4～6月	800
27	91-19KC	高知城跡	高知市	施設整備	高知県	確認調査	7～8月	500
28	91-26MM	松ノ木遺跡	本山町	遺跡内容確認	本山町	確認調査	6～7月	500
29	91-7KK	窪川北部遺跡群	窪川町	ほ場整備	窪川町	試掘調査	7～8月	100
30	91-24KN	窪川南部遺跡群	窪川町	ほ場整備	窪川町	試掘調査	11～12月	150
31	91-25ST	斗賀野遺跡群	佐川町	ほ場整備	佐川町	試掘調査	12月	400
32	91-29YG	シタノチ遺跡	土佐山田町	ほ場整備	土佐山田町	試掘調査	12～1月	120
33	91-30YH	山田北部遺跡群	土佐山田町	ほ場整備	土佐山田町	試掘調査	12～2月	100
派遣調査小計								8,670
平成3年度合計								34,580
平成4年度								
1	92-1KY	柳田遺跡	高知市	店舗建設	民間	本調査	8～12月	4,540
2	92-5HM	南浦遺跡	春野町	老人ホーム建設	春野町	本調査	4～6月	690
3	92-10NSM	ハナノシロ城跡	中村市	中村宿毛道路	建設省	本調査	5～10月	3,500
4	92-11NSEK	江ノ古城跡	中村市	中村宿毛道路	建設省	本調査	5～11月	1,400
5	92-12NSN	西ノ谷遺跡	中村市	中村宿毛道路	建設省	本調査	9～12月	1,350
6	92-14NK	金地遺跡	南国市	工場建設	民間	本調査	6～8月	800
7	92-16KJ	秦泉寺廃寺跡	高知市	県道改良	高知県	本調査	6～7月	160

番号	調査略号	遺跡・調査名	調査地	事業名	事業者	種別	期間	面積 (㎡)
8	92-21KM	峯の上遺跡	窪川町	ほ場整備	高知県	本調査	6～8月	1,500
9	92-19IS	坂本岩陰遺跡	池川町	遺跡内容確認	池川町	確認調査	9月	8
10	92-32IB	バーガ森北斜面遺跡	伊野町	広域農道	高知県	試掘調査	1～2月	60
11	92-1KY	柳田遺跡	高知市	店舗建設確認	高知市	試掘調査	4～5月	255
12	92-33KN	国見遺跡	中村市	中学校建設	中村市	試掘調査	1月	200
13	92-34SE	栄エ田遺跡	南国市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	1～2月	200
受託調査小計								14,663
14	92-9NH	本村遺跡	野市町	ほ場整備	野市町	本調査	5～7月	1,300
15	92-20YG	林田シタノヂ遺跡	土佐山田町	ほ場整備	高知県	本調査	10～11月	2,700
16	92-24SI	岩井口遺跡	佐川町	ほ場整備	高知県	本調査	10～12月	3,600
17	92-7HN	仁ノ遺跡	春野町	砂利採集	個人	本調査	5・8月	400
18	92-22TK	木屋ヶ内遺跡	大正町	ほ場整備	大正町	本調査	9月	125
19	92-30YHK	久次遺跡カリガヤノ地区	土佐山田町	ほ場整備	高知県	本調査	11～12月	2,000
20	92-2YC	芳原城跡	春野町	農地造成	個人	確認調査	9～1月	1,500
21	92-4KB	土佐国分寺跡	南国市	庫裡建設	南国市	確認調査	4～5月	220
22	92-6YO	伏原大塚古墳	土佐山田町	遺跡内容確認	土佐山田町	確認調査	7～1月	300
23	92-18OM	ムクリ山遺跡	大月町	遺跡内容確認	大月町	確認調査	8月	600
24	92-25KB	土佐国分寺跡	南国市	参道改修	南国市	確認調査	10～11月	130
25	92-27MM	松ノ木遺跡	本山町	遺跡内容確認	本山町	確認調査	10～3月	550
26	92-36OT	竜ヶ迫遺跡	大月町	遺跡内容確認	大月町	確認調査	8月	8
27	92-3TS	川口新階遺跡	十和村	小学校施設整備	十和村	試掘調査	4月	104
28	92-8KK	籠ノ谷遺跡	高知市	農道改良	高知県	試掘調査	5月	100
29	92-13HT	高野遺跡	東津野村	農道建設	高知県	試掘調査	10月	8
30	92-15HS	西畑遺跡	春野町	ほ場整備	春野町	試掘調査	5・9～10月	750
31	92-17HO	奥谷遺跡	春野町	町道改良	春野町	試掘調査	8月	35
32	92-23TM	ミズクレ遺跡	土佐清水市	都市計画事業	土佐清水市	試掘調査	10月	35
33	92-26NH	東崎遺跡	南国市	農業高校整備	高知県	試掘調査	10月	10
34	92-28HJ	平野遺跡	中村市	農道改良	高知県	試掘調査	10月	60
35	92-29HZ	ハザマダ遺跡	南国市	ほ場整備	南国市	試掘調査	11～12月	113
36	92-31MO	岡の前遺跡	三原村	ほ場整備	三原村	試掘調査	11月	138
37	92-35YSW	新改西部遺跡群	土佐山田町	ほ場整備	高知県	試掘調査	11～2月	328
38	92-37MH	八反坪遺跡	土佐町	民間病院施設整備	土佐町	試掘調査	3月	68
派遣調査小計								15,182
平成4年度合計								29,845
平成5年度								
1	93-1NF	船戸遺跡	中村市	中村宿毛道路	建設省	本調査	4～2月	6,000
2	93-3SE	栄エ田遺跡	南国市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	5～12月	3,000
3	93-5NK	金地遺跡	南国市	工場建設	民間	本調査	5月	500
4	93-13JK	秦泉寺廃寺跡	高知市	農道改良	高知県	本調査	4～5月	80
5	93-17UC	浦戸城跡	高知市	国民宿舍建設	高知市	本調査	8～11月	610
6	93-18NN	長畝遺跡	南国市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	5・1～3月	1,500
7	93-19KH	尾立遺跡	高知市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	10～12月	900
8	93-20TZ	下分遠崎遺跡	香我美町	農道改良	高知県	本調査	9～10月	400
9	93-6KI	蚊居田城跡	南国市	倉庫建設	民間	試掘調査	6月	600
10	93-8NG	池長崎遺跡	高知市	農道改良	高知県	試掘調査	7～8月	1,500
11	93-16KY	柳田遺跡	高知市	店舗建設	高知市	試掘調査	8月	140
12	93-21SK	池ノ上・楠山遺跡	宿毛市	坂本ダム建設	高知県	試掘調査	11月	800
13	93-24KY	柳田遺跡	高知市	福祉プラザ建設	高知県	試掘調査	12月	180
14	93-25SB	須崎バイパス池ノ内地区	須崎市	須崎バイパス	建設省	試掘調査	12月	250
15	93-32FK	福井遺跡	高知市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	1～3月	250
16	93-33NOM	奥谷南遺跡	南国市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	2～3月	300
受託調査小計								17,010
17	93-4KN	国見遺跡	中村市	中学校建設	中村市	本調査	5～8月	1,600
18	93-10SI	岩井口遺跡	佐川町	ほ場整備	高知県	本調査	6～9月	1,270
19	93-11NC	二ノ部城跡	佐川町	ほ場整備	高知県	本調査	10月	150
20	93-12SN	二ノ部遺跡	佐川町	ほ場整備	高知県	本調査	10～2月	4,860
21	93-29YHH	久次遺跡林田地区	土佐山田町	ほ場整備	高知県	本調査	9～12月	3,000
22	93-36MDC	本山土居城跡	本山町	石垣改修	本山町	本調査	2～3月	80
23	93-37HK	北川遺跡	東津野村	ほ場整備	東津野村	本調査	2月	50

番号	調査略号	遺跡・調査名	調査地	事業名	事業者	種別	期間	面積(m ²)
24	93-2YC	芳原城跡	春野町	農地造成	個人	確認調査	4月	250
25	93-7KC	高知城跡伝御台所	高知市	史跡整備	高知県	確認調査	7～10月	1,500
26	93-14KB	土佐国分寺跡	南国市	史跡確認	南国市	確認調査	6～12月	300
27	93-15TD	十川駄場崎遺跡	十和村	遺跡内容確認	十和村	確認調査	6～10月	100
28	93-26KC	高知城跡三ノ丸	高知市	史跡確認	高知県	確認調査	11月	100
29	93-28MM	松ノ木遺跡	本山町	遺跡内容確認	本山町	確認調査	11～1月	1,000
30	93-34KB	土佐国分寺跡	南国市	光明殿建設	南国市	確認調査	5～8月	100
31	93-35NOK	大崎山古墳	野市町	遺跡内容確認	野市町	確認調査	2～3月	10
32	93-30HS	西畑・大上遺跡	春野町	ほ場整備	春野町	試掘調査	12・2月	200
派遣調査小計								14,570
平成5年度合計								31,580
平成6年度								
1	94-1GN	具同中山遺跡群	中村市	中村宿毛道路	建設省	本調査	5～2月	5,527
2	94-2FK	福井遺跡	高知市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	4～2月	5,000
3	94-3NN	長畝3号墳	南国市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	6～12月	1,600
4	94-4NOM	奥谷南遺跡	南国市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	4～1月	5,400
5	94-12SI	池ノ上遺跡	宿毛市	坂本ダム建設	高知県	本調査	7～8月	630
6	94-12SK	楠山遺跡	宿毛市	坂本ダム建設	高知県	本調査	9～10月	640
7	94-14RNK	小籠遺跡	南国市	国道195号改良	高知県	本調査	7～12月	8,506
8	94-13KC	高知城跡伝御台所	高知市	史跡整備	高知県	確認調査	7～9月	930
受託調査小計								28,233
9	94-5FK	深湖北遺跡	野市町	ほ場整備	野市町	本調査	9～12月	1,800
10	94-11MN	永田遺跡	本山町	店舗建設	本山町	本調査	6月	400
11	94-29NS	下ノ坪遺跡	野市町	ほ場整備	野市町	本調査	1～3月	1,218
12	94-9HH	姫野々城跡	葉山村	遺跡内容確認	葉山村	確認調査	5～8月	200
13	94-10TD	十川駄場崎遺跡	十和村	遺跡内容確認	十和村	確認調査	6～8月	30
14	94-15ON	ナシヶ森遺跡	大月町	遺跡内容確認	大月町	確認調査	8～10月	80
15	94-20NH	比江廃寺跡	南国市	遺跡内容確認	南国市	確認調査	1～2月	340
16	94-25MM	松ノ木遺跡	本山町	遺跡内容確認	本山町	確認調査	11～3月	550
17	94-5FK	深湖北遺跡	野市町	ほ場整備	野市町	試掘調査	5・9～12月	1,410
18	94-6KY	柳田遺跡(糞原地区)	高知市	宅地開発	民間	試掘調査	6月	24
19	94-7KY	柳田遺跡(中ノ坪地区1)	高知市	宅地開発	民間	試掘調査	8月	24
20	94-8KY	柳田遺跡(沖田地区)	高知市	公園整備	高知市	試掘調査	10～12月	1,088
21	94-27KY	柳田遺跡(中ノ坪地区2)	高知市	宅地開発	民間	試掘調査	12月	140
22	94-16KN	介良中野遺跡	高知市	個人住宅	民間	試掘調査	9月	50
23	94-18TK	土佐国府跡	南国市	個人住宅	民間	試掘調査	10月	110
24	94-19NI	岩村遺跡群	南国市	ほ場整備	高知県	試掘調査	10～1月	256
25	94-22SC	曾我城跡	大方町	国営農地	農林水産省	試掘調査	10～12月	384
派遣調査小計								8,104
平成6年度合計								36,337
平成7年度								
1	95-1GK	具同中山遺跡群	中村市	中村宿毛道路	建設省	本調査	5～11月	1,700
2	95-2RNK	小籠遺跡群	南国市	国道195号改良	高知県	本調査	4～10月	8,322
3	95-6NOM	奥谷南遺跡	南国市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	12～3月	1,250
4	95-7RNS	下末松遺跡	南国市	国道195号改良	高知県	本調査	5～6月	1,200
5	95-11SK	楠山遺跡	宿毛市	坂本ダム建設	高知県	本調査	7～11月	1,870
6	95-15RYY	三ツ又遺跡	土佐山田町	国道195号改良	高知県	本調査	8～12月	4,300
7	95-17RNJ	陣山遺跡	南国市	国道195号改良	高知県	本調査	9～12月	3,692
8	95-34IHIB	八田神母谷遺跡	伊野町	四国横断自動車道	道路公団	本調査	12～3月	3,300
9	95-4SD	吾井郷・神田地区	須崎市	須崎道路	建設省	試掘調査	5～6・11月	822
10	95-10TB	高岡地区	土佐市	土佐市バイパス	建設省	試掘調査	6～7月	550
11	95-20IH	八田地区	伊野町	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	9～3月	700
12	95-28SBK	神田地区	須崎市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	12～1月	300
13	95-31HS	飛田坂本遺跡	須崎市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	1～3月	850
受託調査小計								28,856
14	95-8NS	下ノ坪遺跡	野市町	ほ場整備	野市町	本調査	6～3月	1,630
15	95-16KM	神田ムク入道遺跡	高知市	店舗建設	民間	本調査	9～10月	300
16	95-18SC	曾我城跡	大方町	国営農地	農林水産省	本調査	9～12月	1,081
17	95-22KM	上美都岐遺跡	佐川町	ほ場整備	高知県	本調査	10～1月	2,818

番号	調査略号	遺跡・調査名	調査地	事業名	事業者	種別	期間	面積 (㎡)
18	95-37OG	女川遺跡	越知町	町道建設	越知町	本調査	3月	207
19	95-5HH	姫野々城跡	葉山村	遺跡内容確認	葉山村	確認調査	5～8月	320
20	95-9MM	松ノ木遺跡	本山町	遺跡内容確認	本山町	確認調査	4～5月	100
21	95-13ON	ナシヶ森遺跡	大月町	遺跡内容確認	大月町	確認調査	8～9月	120
22	95-14NH	比江廃寺跡	南国市	遺跡内容確認	高知県	確認調査	7・11～2月	1,132
23	95-24KC	高知城跡伝御台所石垣	高知市	史跡整備	高知県	確認調査	11～1月	120
24	95-26OG	女川遺跡	越知町	遺跡内容確認	越知町	確認調査	12月	46
25	95-36OG	女川遺跡	越知町	個人住宅	越知町	確認調査	2月	175
26	95-3KBS	鷺泊橋遺跡	高知市	宅地開発	民間	試掘調査	4月	100
27	95-12KY	柳田遺跡 (船戸地区)	高知市	宅地開発	民間	試掘調査	7月	75
28	95-21KK	介良遺跡	高知市	河川改修	高知市	試掘調査	10～11月	800
29	95-25KM	神田ムク入道遺跡	高知市	宅地開発	民間	試掘調査	12月	125
30	95-30KY	柳田遺跡 (勝負ノ川地区)	高知市	店舗建設	民間	試掘調査	1月	75
31	95-35KY	柳田遺跡 (榊甲地区)	高知市	店舗建設	民間	試掘調査	2月	125
派遣調査小計								9,349
平成7年度合計								38,205
平成8年度								
1	96-1GN	具同中山遺跡群	中村市	中村宿毛道路	建設省	本調査	6～11月	2,000
2	96-1GN	具同中山遺跡群	中村市	県道改良	高知県	本調査	10～11月	500
3	96-2RNJ	陣山遺跡	南国市	国道195号改良	高知県	本調査	8～11月	4,145
4	96-3RNG	五反地遺跡	南国市	国道195号改良	高知県	本調査	4～8月	6,000
5	96-4TI	光永・岡ノ下遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	本調査	7～2月	5,104
6	96-5TT	天神遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	本調査	7～10月	2,439
7	96-6TH	林口遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	本調査	11～2月	2,717
8	96-7NOM	奥谷南遺跡	南国市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	4～10月	3,000
9	96-9NT	田村遺跡群	南国市	高知空港拡張	運輸省	本調査	11～3月	17,300
10	96-10KK	介良遺跡	高知市	河川改修	高知市	本調査	5～11月	3,000
11	96-11HI	八田神母谷遺跡	伊野町	四国横断自動車道	道路公団	本調査	4～1月	4,750
12	96-12HN	八田奈路遺跡	伊野町	四国横断自動車道	道路公団	本調査	4～3月	29,000
13	96-21SHS	飛田坂本遺跡	須崎市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	9～2月	4,000
14	96-44NA	浅村遺跡	中村市	中村宿毛道路	建設省	本調査	12～2月	800
15	96-9NT	田村遺跡群	南国市	高知空港拡張	運輸省	試掘調査	8～9月	2,368
16	96-14IT	居徳地区1	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	6～8月	650
17	96-22TM	御子納地区	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	10月	425
18	96-23TK	北原地区	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	11～1月	875
19	96-29IT	居徳地区2	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	11～12月	448
20	96-43HW	戸波地区	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	1～2月	650
21	96-53HM	人麻呂様地区	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	2～3月	375
受託調査小計								90,546
22	96-8NS	下ノ坪遺跡	野市町	ほ場整備	野市町	本調査	4～7月	3,600
23	96-16SC	曾我城跡	大方町	国営農地	農林水産省	本調査	7～10月	2,336
24	96-28TS	林口遺跡市道	土佐市	市道改良	土佐市	本調査	11～2月	510
25	96-39TT	田畠遺跡	土佐町	ほ場整備	高知県	本調査	7～8月	370
26	96-49MI	銀杏ノ木遺跡	本山町	宅地開発	本山町	本調査	2～3月	2,366
27	96-58NI	岩村遺跡群・岩村城跡	南国市	ほ場整備	高知県	本調査	9～2月	3,910
28	96-59NS	白猪田遺跡	南国市	ほ場整備	高知県	本調査	12～2月	1,019
29	96-60KK	米の川遺跡	窪川町	県道改良	高知県	本調査	12月	800
30	96-15NI	一条氏関連遺跡	中村市	ホテル建設	民間	確認調査	5月	150
31	96-51HHJ	姫野々城跡	葉山村	遺跡内容確認	葉山村	確認調査	12～2月	40
32	96-54OG	女川遺跡	越知町	遺跡内容確認	越知町	確認調査	2～3月	533
33	96-31IB	バーガ森北斜面遺跡	伊野町	広域農道	高知県	試掘調査	10～11月	124
34	96-52HTD	津野氏土居跡	葉山村	福祉センター建設	葉山村	試掘調査	2～3月	750
派遣調査小計								16,508
平成8年度合計								107,054
平成9年度								
1	97-1NT	田村遺跡群	南国市	高知空港拡張	運輸省	本調査	5～3月	46,959
2	97-2NH	間城跡	中村市	中村宿毛道路	建設省	本調査	5～10月	5,500
3	97-3GN	具同中山遺跡群	中村市	県道改良	高知県	本調査	4～2月	2,189
4	97-4TI	光永・岡ノ下遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	本調査	5～7月	747

番号	調査略号	遺跡・調査名	調査地	事業名	事業者	種別	期間	面積 (㎡)
5	97-5TT	天神遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	本調査	9～11月	4,303
6	97-7AT	天崎遺跡	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	5～3月	8,000
7	97-8TI	居徳遺跡群	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	10～3月	13,839
8	97-12HN	八田奈路遺跡	伊野町	四国横断自動車道	道路公団	本調査	4～5月	4,000
9	97-21HS	飛田坂本遺跡	須崎市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	4～6月	1,950
10	97-17ON	西本城跡	大方町	県道改良	高知県	本調査	10～3月	4,500
11	97-18NS	里改田遺跡	南国市	県道改良	高知県	本調査	12月	108
12	97-14HT	林口地区	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	7～9月	650
13	97-15HM	人麻呂様地区	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	8月	70
14	97-20TK	北原地区	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	11～1月	320
15	97-16RNK	小籠・上末松地区	南国市	国道195号改良	高知県	試掘調査	8～9月	540
受託調査小計								93,675
16	97-10IB	バーガ森北斜面遺跡	伊野町	広域農道	高知県	本調査	6～10月	800
17	97-11MI	銀杏ノ木遺跡	本山町	宅地造成	民間	本調査	5～7月	700
18	97-22HC	人麻呂様城跡	土佐市	墓地造成	土佐市	本調査	1～3月	1,000
19	97-29HH	姫野々土居跡	葉山村	福祉センター建設	葉山村	本調査	6～10月	4,100
20	97-19NO	大宮・宮崎遺跡	西土佐村	遺跡内容確認	西土佐村	確認調査	10～11月	900
21	97-28KY	上河内地区	香我美町	農道整備	高知県	試掘調査	3月	84
派遣調査小計								7,584
平成9年度合計								101,259
平成10年度								
1	98-1NT	田村遺跡群	南国市	高知空港拡張	運輸省	本調査	4～3月	51,353
2	98-2SK	神ヶ谷窯跡	宿毛市	中村宿毛道路	建設省	本調査	4～8月	800
3	98-15NA	浅村遺跡	中村市	中村宿毛道路	建設省	本調査	7～9月	780
4	98-3GN	具同中山遺跡群	中村市	県道改良	高知県	本調査	10～3月	2,838
5	98-4TK	北地アリノ木遺跡	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	5～9月	1,000
6	98-7TN	西鴨地遺跡	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	6～9月	2,000
7	98-8TI	居徳遺跡群	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	6～3月	31,098
8	98-13KT	北高田遺跡	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	9～3月	5,400
9	-	飛田坂本遺跡	須崎市	四国横断自動車道	道路公団	本調査	5～6月	150
10	98-5TT	天神遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	本調査	5～11月	8,108
11	98-6TH	林口遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	本調査	11～12月	904
12	98-11RNK	小籠北遺跡	南国市	国道195号改良	高知県	本調査	6～9月	3,981
13	98-23NS	里改田遺跡	南国市	県道改良	高知県	本調査	2～3月	778
14	98-2SK	神ヶ谷窯跡	宿毛市	中村宿毛道路	建設省	試掘調査	4月	300
15	98-9THW	戸波西地区	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	8月	200
16	98-12KT	北高田遺跡	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	5～9月	750
17	98-19NK	古津賀遺跡	中村市	古津賀バイパス	建設省	試掘調査	10月	588
18	98-22GN	具同中山遺跡群	中村市	中村宿毛道路	建設省	試掘調査	2月	200
19	98-21KB	窪津遺跡	土佐清水市	県道改良	高知県	試掘調査	1～2月	524
20	-	蓮池城跡北斜面遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	試掘調査	2月	150
受託調査小計								111,902
21	98-14KH	幅山遺跡	香我美町	農道整備	香我美町	本調査	7～8月	520
22	-	江川中畝遺跡	西土佐村	ほ場整備	高知県	本調査	10月	480
23	-	芝の坊遺跡	佐川町	ほ場整備	高知県	本調査	6月	197
24	98-10IB	バーガ森北斜面遺跡	伊野町	広域農道	高知県	試掘調査	6～3月	115
25	-	ナシヶ森遺跡	大月町	ほ場整備	高知県	試掘調査	4～3月	290
26	-	コゴロク廃寺跡	奈半利町	ほ場整備	高知県	試掘調査	12～3月	625
27	-	小浜城跡	鏡村	国体施設整備	鏡村	試掘調査	1～2月	470
28	-	木塚城跡	春野町	国体施設整備	春野町	試掘調査	3月	480
派遣調査小計								3,177
平成10年度合計								115,079
平成11年度								
1	99-1NT	田村遺跡群	南国市	高知空港拡張	運輸省	本調査	5～3月	26,025
2	99-6TH	林口遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	本調査	5～12月	5,340
3	99-5HK	蓮池城跡北斜面遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	本調査	5～6・10月	1,091
4	99-11GN	具同中山遺跡群	中村市	中村宿毛道路	建設省	本調査	5～2月	4,470
5	99-4GNS	具同中山遺跡群	中村市	県道改良	高知県	本調査	6～8月	345
6	99-15YH	林田遺跡	土佐山田町	県道改良	高知県	本調査	9～11月	2,000

番号	調査略号	遺跡・調査名	調査地	事業名	事業者	種別	期間	面積 (㎡)
7	99-23NS	里改田遺跡	南国市	県道改良	高知県	本調査	5～8月	684
8	99-12KT	北高田遺跡	土佐市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	11～12月	125
9	99-14NST	里改田遺跡 (杉本地区)	南国市	県道改良	高知県	試掘調査	10月	193
10	99-17HN	西分増井遺跡	春野町	農道整備	高知県	試掘調査	12月	54
11	-	林口遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	試掘調査	7・9月	40
12	-	蓮池城跡北斜面遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	試掘調査	1月	54
13	-	光永・岡ノ下遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	試掘調査	1月	70
14	-	野田遺跡	土佐市	土佐市バイパス	建設省	試掘調査	10月	189
15	-	長谷川丸遺跡	土佐山田町	県道改良	高知県	試掘調査	9～10月	140
16	-	新川川流域	春野町	河川改修	高知県	試掘調査	2～3月	500
受託調査小計								41,320
17	-	下分遠崎遺跡	香我美町	体育館建設	香我美町	本調査	4～6月	1,000
18	-	コゴロク廃寺跡	奈半利町	ほ場整備	高知県	本調査	11～2月	1,638
19	-	土佐国衙跡	南国市	公園整備	南国市	本調査	5～7月	1,466
20	-	泉ヶ内遺跡	南国市	農道整備	南国市	本調査	10月	458
21	-	上岡遺跡	野市町	集落整備	野市町	本調査	1～3月	1,200
22	-	小浜城跡	鏡村	国体施設整備	鏡村	本調査	9～3月	8,000
23	-	木塚城跡	春野町	施設建設	春野町	本調査	10～3月	11,000
24	-	バーガ森北斜面遺跡	伊野町	広域農道	高知県	本調査	10～1月	800
25	-	ナシヶ森遺跡	大月町	ほ場整備	高知県	試掘調査	7～11月	200
派遣調査小計								25,762
平成 11 年度合計								67,082
平成 12 年度								
1	00-1NT	田村遺跡群	南国市	高知空港拡張	国土交通省	本調査	6～1月	9,772
2	00-3GN	具同中山遺跡群	中村市	中村宿毛道路	国土交通省	本調査	6～11月	1,625
3	00-4NH	久木ノ城跡	中村市	中村宿毛道路	国土交通省	本調査	10～1月	2,368
4	00-5TN	野田遺跡	土佐市	土佐市バイパス	国土交通省	本調査	5～11月	3,686
5	00-10TK	京間遺跡	土佐市	土佐市バイパス	国土交通省	本調査	1～3月	1,261
6	00-8TH	林田遺跡	土佐山田町	県道改良	高知県	本調査	7～9月	1,000
7	00-2KC	高知城跡本丸・三ノ丸	高知市	史跡整備	高知県	確認調査	8～11月	320
8	00-4NH	久木ノ城跡	中村市	中村宿毛道路	国土交通省	試掘調査	8～9月	104
9	00-9NOC	岡豊城跡	南国市	河川改修	高知県	試掘調査	1～2月	90
10	00-12KOC	柏尾山城跡	高知市	採石事業	民間	試掘調査	10～12月	140
11	00-8TH	林田遺跡	土佐山田町	県道改良	高知県	試掘調査	6月	64
12	-	京間他地区	土佐市	土佐市バイパス	国土交通省	試掘調査	9～12月	509
13	-	新川川流域 (秋山地区他)	春野町	河川改修	高知県	試掘調査	10～1月	2,625
14	-	新川川流域 (弘岡下地区)	春野町	河川改修	高知県	試掘調査	10～1月	2,675
15	-	芳原川・枝川流域	春野町	河川改修	高知県	試掘調査	12～1月	1,075
受託調査小計								27,314
16	-	コゴロク廃寺跡	奈半利町	ほ場整備	高知県	本調査	4～3月	2,500
17	-	上岡北遺跡	野市町	集落整備	野市町	本調査	4～3月	1,100
18	-	母代寺土居屋敷遺跡	野市町	ほ場整備	野市町	本調査	1～3月	3,000
19	-	木塚城跡	春野町	施設建設	春野町	本調査	4～3月	11,000
20	-	高知城跡本丸・三ノ丸	高知市	史跡整備	高知県	試掘調査	5～6月	45
21	-	池城跡	高知市	土砂採集	民間	試掘調査	3月	90
派遣調査小計								17,735
平成 12 年度合計								45,049
平成 13 年度								
1	01-1NT	田村遺跡群	南国市	高知空港拡張	国土交通省	本調査	5～12月	2,535
2	01-2TK	京間遺跡	土佐市	土佐市バイパス	国土交通省	本調査	5～11月	3,616
3	01-3TN	野田遺跡	土佐市	土佐市バイパス	国土交通省	本調査	11～2月	2,118
4	01-4NK	古津賀遺跡群	中村市	国道 56 号改良	国土交通省	本調査	5～6月	56
5	01-5GN	具同中山遺跡群	中村市	中村宿毛道路	国土交通省	本調査	8～11月	1,926
6	01-15SK	神ヶ谷 2 号窯跡	宿毛市	中村宿毛道路	国土交通省	本調査	7月	181
7	01-10KS	高知城伝下屋敷遺跡	高知市	裁判所建設	最高裁判所	本調査	4～7月	1,007
8	01-8NT	田村遺跡群	南国市	公園整備	高知県	本調査	8～10月	640
9	01-9NOC	岡豊城跡	南国市	河川改修	高知県	本調査	7～11月	1,300
10	01-11HK	北川内遺跡	春野町	河川改修	高知県	本調査	4～6月	410
11	01-12HH	東江曲遺跡	春野町	河川改修	高知県	本調査	7～10月	790

番号	調査略号	遺跡・調査名	調査地	事業名	事業者	種別	期間	面積 (㎡)
12	01-18HN	西分増井・馬場末遺跡	春野町	河川改修	高知県	本調査	10～3月	4,060
13	01-13KN	中屋敷遺跡	香北町	県道改良	高知県	本調査	5月	200
14	01-23AY	勇前遺跡	安芸市	県道改良	高知県	本調査	2月	598
15	01-7KK	高知城跡本丸	高知市	石垣改修	高知県	本調査	11～3月	300
16	01-6NF	不破遺跡	中村市	中村宿毛道路	国土交通省	試掘調査	12月	150
17	01-13KN	中屋敷遺跡	香北町	県道改良	高知県	試掘調査	4月	275
18	01-16YH	林田遺跡	土佐山田町	県道改良	高知県	試掘調査	7月	112
19	01-17KH	朴ノ木遺跡	香北町	県道改良	高知県	試掘調査	6～10月	160
20	01-19HO	奥谷地区	春野町	県道改良	高知県	試掘調査	9月	148
21	01-22HS	千本杉遺跡	日高村	県道改良	高知県	試掘調査	12月	99
22	01-18HN	西分増井・馬場末遺跡	春野町	河川改修	高知県	試掘調査	8～9月	1,100
23	01-14TS	瓜白地区	土佐清水市	公園整備	高知県	試掘調査	6月	72
平成13年度合計(受託調査)								21,853
平成14年度								
1	02-3TN	野田遺跡	土佐市	土佐市バイパス	国土交通省	本調査	5～2月	2,169
2	02-4TK	京間遺跡	土佐市	土佐市バイパス	国土交通省	本調査	6～10月	2,237
3	02-5NF	不破遺跡	中村市	中村宿毛道路	国土交通省	本調査	10～1月	1,459
4	02-2HN	西分増井遺跡	春野町	河川改修	高知県	本調査	4～10月	3,510
5	02-7HS	千本杉遺跡	日高村	県道改良	高知県	本調査	9～11月	375
6	02-9KK	高知城跡本丸	高知市	石垣整備	高知県	本調査	8～2月	200
7	02-5NF	不破遺跡	中村市	中村宿毛道路	国土交通省	試掘調査	1～2月	52
8	02-7HS	千本杉遺跡	日高村	県道改良	高知県	試掘調査	6月	6
9	02-10KS	介良白水遺跡	高知市	県道改良	高知県	試掘調査	9月	128
10	-	ジョウマン遺跡	安芸市	県道改良	高知県	試掘調査	1月	128
11	-	楠目地区	土佐山田町	都市計画道路	高知県	試掘調査	12月	64
12	-	土島田遺跡	南国市	国道195号改良	高知県	試掘調査	1月	48
13	-	西分増井遺跡	春野町	河川改修	高知県	試掘調査	7月	112
平成14年度合計(受託調査)								10,488
平成15年度								
1	03-2TK	京間遺跡	土佐市	土佐市バイパス	国土交通省	本調査	5～6月	1,236
2	03-11SJ	城ノ台城跡	佐川町	国道494号改良	高知県	本調査	9～10月	498
3	03-1AJ	ジョウマン遺跡	安芸市	県道改良	高知県	本調査	5～6月	600
4	03-9HS	千本杉遺跡	日高村	県道改良	高知県	本調査	8月	68
5	03-16YH	林田遺跡	土佐山田町	県道改良	高知県	本調査	1～3月	730
6	03-6NK	衣笠地区	高知市	高知南国道路	国土交通省	試掘調査	7～8月	76
7	03-7NN	西野々地区	南国市	高知南国道路	国土交通省	試掘調査	8～9月	1,250
8	03-8YI	出口・千切地区	夜須町	南国安芸道路	国土交通省	試掘調査	10月	750
9	03-14NF	不破遺跡	中村市	中村宿毛道路	国土交通省	試掘調査	1～2月	261
10	03-11SJ	城ノ台城跡	佐川町	国道494号改良	高知県	試掘調査	9月	24
11	03-3HS	千本杉遺跡	日高村	県道改良	高知県	試掘調査	6～7月	30
12	03-4AK	高台寺遺跡	安芸市	県道改良	高知県	試掘調査	6～7月	97
13	03-10TH	ひびのき岡の神母遺跡	土佐山田町	県道改良	高知県	試掘調査	8月	42
14	03-13YH	林田遺跡	土佐山田町	県道改良	高知県	試掘調査	11月	100
15	03-13YH	日吉神社遺跡	土佐山田町	県道改良	高知県	試掘調査	3月	40
16	03-15NS	里改田地区	南国市	県道改良	高知県	試掘調査	12月	150
17	03-5AY	山田山遺跡	安芸市	河川改修	高知県	試掘調査	12月	100
平成15年度合計(受託調査)								6,052
平成16年度								
1	04-1YK	口横ヶ谷遺跡	夜須町	南国安芸道路	国土交通省	本調査	5～1月	7,215
2	04-2NN	西野々遺跡	南国市	高知南国道路	国土交通省	本調査	5～2月	17,365
3	04-4NT	坪ノ内遺跡	中土佐町	四国横断自動車道	道路公団	本調査	6～7月	800
4	04-7NN	西山城跡	中土佐町	四国横断自動車道	道路公団	本調査	11～3月	4,000
5	04-9TK	北ノ丸遺跡	土佐市	波介川河口導流	国土交通省	本調査	10～12月	1,500
6	04-6KK	高知城跡三ノ丸	高知市	石垣改修	高知県	本調査	8～3月	730
7	04-14KT	徳王子地区	香我美町	南国安芸道路	国土交通省	試掘調査	2～3月	424
8	04-8NKO	古津賀遺跡群	中村市	国道56号改良	国土交通省	試掘調査	10月	288
9	04-11NSA	坂本遺跡	中村市	中村宿毛道路	国土交通省	試掘調査	11月	65
10	04-12OST	田ノ口地区	大方町	大方バイパス	国土交通省	試掘調査	11～12月	15
11	-	芝・中島地区	土佐市	土佐市バイパス	国土交通省	試掘調査	2～3月	520

番号	調査略号	遺跡・調査名	調査地	事業名	事業者	種別	期間	面積 (㎡)
12	04-5NT	新居地区	土佐市	波介川河口導流	国土交通省	試掘調査	7～8月	635
13	04-30HF	吹上城跡	大方町	西南大規模公園	高知県	試掘調査	5～6月	176
14	04-30HF	弘野遺跡	大方町	西南大規模公園	高知県	試掘調査	9月	424
15	04-10YH	加茂ハイタノクボ遺跡	土佐山田町	県道改良	高知県	試掘調査	10月	20
16	04-13KNM	ミトロ遺跡	高知市	国道195号改良	高知県	試掘調査	1月	108
平成16年度合計(受託調査)								34,285
平成17年度								
1	05-1YK	口横ヶ谷遺跡	夜須町	南国安芸道路	国土交通省	本調査	5～7月	1,740
2	05-2 NN	西野々遺跡	南国市	高知南国道路	国土交通省	本調査	5～1月	17,981
3	05-16KH	花宴遺跡	香南市	南国安芸道路	国土交通省	本調査	11～3月	5,105
4	05-3NSA	坂本遺跡	四万十市	中村宿毛道路	国土交通省	本調査	5～3月	5,323
5	05-4NT	坪ノ内遺跡	中土佐町	四国横断自動車道	道路公団	本調査	6～3月	5,320
6	05-7NN	西山城跡	中土佐町	四国横断自動車道	道路公団	本調査	4～2月	8,200
7	05-8TK	上ノ村遺跡	土佐市	波介川河口導流	国土交通省	本調査	8～12月	4,980
8	05-9KNM	ミトロ遺跡	高知市	国道195号改良	高知県	本調査	8～12月	2,414
9	05-15YK	加茂ハイタノクボ遺跡	香美市	県道改良	高知県	本調査	10月	12
10	05-12KK	高知城跡三ノ丸	高知市	石垣改修	高知県	本調査	9～3月	490
11	05-4KM	高知城跡丸ノ内緑地	高知市	イベント設備	高知県	試掘調査	5～8月	300
12	05-10YH	夜須西地区	香南市	南国安芸道路	国土交通省	試掘調査	8～10月	405
13	05-11KT	徳王子地区	香南市	南国安芸道路	国土交通省	試掘調査	9～2月	1,680
14	05-19NT	竹中地区	南国市	高知南国道路	国土交通省	試掘調査	9月	260
15	05-18TN	中島地区	土佐市	土佐市バイパス	国土交通省	試掘調査	11～12月	422
16	05-5TN	新居地区	土佐市	波介川河口導流	国土交通省	試掘調査	5～6月	1,632
17	05-17SK	角谷地区	須崎市	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	11～12月	576
18	05-20KKN	小向西地区	四万十町	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	11～12月	144
19	05-21KKH	小向東地区	四万十町	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	12月	208
20	05-22KK	川崎地区	中土佐町	四国横断自動車道	道路公団	試掘調査	7月	165
21	05-13KIK	介良野地区	高知市	県道改良	高知県	試掘調査	9～10月	450
22	05-14KIN	伊達野地区	南国市	県道改良	高知県	試掘調査	10月	277
平成17年度合計(受託調査)								58,084
平成18年度								
1	06-1KH	花宴遺跡	香南市	南国安芸道路	国土交通省	本調査	4～8月	2,950
2	06-12YT	坪井遺跡	香南市	南国安芸道路	国土交通省	本調査	10～1月	2,170
3	06-2NN	西野々遺跡	南国市	高知南国道路	国土交通省	本調査	5～3月	12,218
4	06-6NT	坪ノ内遺跡	中土佐町	四国横断自動車道	国土交通省	本調査	4月	250
5	06-8TK	上ノ村遺跡	土佐市	波介川河口導流	国土交通省	本調査	8～12月	11,280
6	06-3KIK	介良野遺跡	高知市	県道改良	高知県	本調査	4～10月	3,657
7	06-10KF	伏原遺跡	香美市	都市計画道路	高知県	本調査	10～2月	1,593
8	06-4KK	高知城跡三ノ丸	高知市	石垣改修	高知県	本調査	8～3月	358
9	06-5KK	香我美地区	香南市	南国安芸道路	国土交通省	試掘調査	9月	333
10	06-7KTH	徳王子広本遺跡	香南市	南国安芸道路	国土交通省	試掘調査	9月	131
11	06-13KTO	徳王子大崎遺跡	香南市	南国安芸道路	国土交通省	試掘調査	10月	32
12	06-14NIT	伊達野地区	南国市	高知南国道路	国土交通省	試掘調査	11月	130
13	06-15INT	天神・鎌田地区	いの町	高知西バイパス	国土交通省	試掘調査	12月	358
14	06-16SN	中島地区	土佐市	土佐市バイパス	国土交通省	試掘調査	9～10月	544
15	06-17SN	辻ノ川遺跡	四万十町	四国横断自動車道	国土交通省	試掘調査	9～10月	883
16	06-9NM	ミトロ遺跡	南国市	国道195号改良	高知県	試掘調査	9月	316
17	06-11NS	土島田遺跡	南国市	国道195号改良	高知県	試掘調査	9～11月	916
平成19年度合計(受託調査)								38,119
平成19年度								
1	07-1KH	徳王子広本遺跡	香南市	南国安芸道路	国土交通省	本調査	4～3月	9,740
2	07-16KTM	徳王子前島遺跡	香南市	南国安芸道路	国土交通省	本調査	1～3月	1,549
3	07-2NN	西野々遺跡	南国市	高知南国道路	国土交通省	本調査	4～6月	717
4	07-3IS	城ヶ谷山遺跡	いの町	高知西バイパス	国土交通省	本調査	4～8月	1,207
5	07-8TK	上ノ村遺跡	土佐市	波介川河口導流	国土交通省	本調査	4～3月	16,730
6	07-5NS	土島田遺跡	南国市	国道195号改良	高知県	本調査	6～12月	7,053
7	07-4・7YH	ひびのきサウジ遺跡	香美市	都市計画道路	高知県	本調査	5～11月	1,132
8	07-15KF	伏原遺跡	香美市	都市計画道路	高知県	本調査	11～3月	1,476
9	07-14KYH	原遺跡	香美市	学校施設整備	高知県	本調査	12～2月	435

番号	調査略号	遺跡・調査名	調査地	事業名	事業者	種別	期間	面積 (㎡)
10	07-9KK	高知城跡三ノ丸	高知市	石垣改修	高知県	本調査	10～2月	440
11	07-10NT	伊達野地区	南国市	高知南国道路	国土交通省	試掘調査	10月	118
12	07-11NS	関遺跡	南国市	高知南国道路	国土交通省	試掘調査	10月	27
13	07-12GN	長谷(芸西西)地区	芸西村	南国芸芸道路	国土交通省	試掘調査	11月	300
14	07-13KTM	徳王子前島地区	香南市	南国芸芸道路	国土交通省	試掘調査	11月	161
15	-	鎌田地区	いの町	高知西バイパス	国土交通省	試掘調査	8～9月	252
16	-	是友地区	いの町	高知西バイパス	国土交通省	試掘調査	10月	225
17	07-6YH	ひびのきサウジ遺跡	香美市	都市計画道路	高知県	試掘調査	7～8月	80
18	07-14KYH	原遺跡	香美市	学校施設整備	高知県	試掘調査	12～2月	20
平成19年度合計(受託調査)								41,662
平成20年度								
1	08-1NS	関遺跡	南国市	高知南国道路	国土交通省	本調査	7～9月	700
2	08-2NM	向山戦争遺跡	南国市	高知南国道路	国土交通省	本調査	9～1月	4,000
3	08-9-KO	徳王子大崎遺跡	香南市	南国芸芸道路	国土交通省	本調査	7～11月	1,650
4	08-10KM	徳王子前島遺跡	香南市	南国芸芸道路	国土交通省	本調査	11～3月	2,300
5	08-7IM	貢山城跡	いの町	高知西バイパス	国土交通省	本調査	11～1月	1,079
6	08-11IK	鎌田遺跡	いの町	高知西バイパス	国土交通省	本調査	11～12月	163
7	08-3IITM	天神溝田遺跡	いの町	高知西バイパス	国土交通省	本調査	1～3月	1,131
8	08-8TK	上ノ村遺跡	土佐市	波介川河口導流	国土交通省	本調査	4～3月	21,140
9	08-5NS	土島田遺跡	南国市	国道195号改良	高知県	本調査	4～3月	14,654
10	08-15KF	伏原遺跡	香美市	都市計画道路	高知県	本調査	4～9月	3,253
11	08-6KKK	クノ丸遺跡	香南市	県道改良	高知県	本調査	7～10月	2,322
12	08-3IITM	天神溝田遺跡	いの町	町道改良	いの町	本調査	7～10月	1,400
平成20年度合計(受託調査)								53,792
平成21年度								
1	09-1KH	東野土居遺跡	香南市	南国芸芸道路	国土交通省	本調査	5～8月	3,510
2	09-10KM	徳王子前島遺跡	香南市	南国芸芸道路	国土交通省	本調査	4～7月	1,700
3	09-2NS	関遺跡	南国市	高知南国道路	国土交通省	本調査	8～2月	8,550
4	09-4ITM	天神溝田遺跡	いの町	高知西バイパス	国土交通省	本調査	4～9月	4,400
5	09-8TK	上ノ村遺跡	土佐市	波介川河口導流	国土交通省	本調査	4～9月	9,850
6	09-7NK	西弘小路遺跡	高知市	法務総合庁舎	法務省	本調査	10～1月	1,480
7	09-5NS	土島田遺跡	南国市	国道195号改良	高知県	本調査	4～3月	4,300
8	09-9KH	原遺跡	香美市	学校施設整備	高知県	本調査	5～7月	710
平成21年度合計(受託調査)								34,500
平成22年度								
1	10-1KH	東野土居遺跡	香南市	南国芸芸道路	国土交通省	本調査	4～3月	13,960
2	10-2NS	関遺跡	南国市	高知南国道路	国土交通省	本調査	9～10月	707
3	10-3NT	田村北遺跡	南国市	高知南国道路	国土交通省	本調査	4～5月	327
4	10-4NTN	田村西遺跡	南国市	高知南国道路	国土交通省	本調査	5～2月	8,700
5	10-5IB	パーガ森北斜面遺跡	いの町	高知西バイパス	国土交通省	本調査	5～2月	4,017
6	10-6KO	徳王子大崎遺跡	香南市	南国芸芸道路	国土交通省	本調査	10～1月	2,100
平成22年度合計(受託調査)								29,811

2 平成2～22年度発掘調査面積・調査経費集計

年度	面積 (㎡)	調査経費 (千円)	年度	面積 (㎡)	調査経費 (千円)
2年度	2,670	14,712	13年度	21,853	523,435
3年度	34,580	124,983	14年度	10,488	409,914
4年度	29,845	174,009	15年度	6,052	261,120
5年度	31,580	246,303	16年度	34,285	418,387
6年度	36,337	351,770	17年度	58,084	563,614
7年度	38,205	368,919	18年度	38,119	534,383
8年度	107,054	1,052,116	19年度	41,662	561,417
9年度	101,259	1,321,804	20年度	53,792	568,003
10年度	115,079	1,683,566	21年度	34,500	460,358
11年度	67,082	816,877	22年度	29,811	402,674
12年度	45,049	505,334	合計	937,386	11,363,698

3 埋蔵文化財センター発掘調査報告書刊行一覧

集番号	報告書名	副題
平成2年度		
－	原南遺跡発掘調査報告書	－
－	大谷古墳	県立野市総合公園建設に伴う発掘調査報告書
－	東崎遺跡Ⅰ	県立高知農業高校体育館建設に伴う発掘調査報告書
平成3年度		
第1集	後川・中筋川埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ	具同中山遺跡群
第2集	県史跡 鹿持雅澄邸跡	県史跡鹿持雅澄邸跡整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第3集	扇城跡	宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第4集	十万遺跡Ⅱ	高知県経済連LPガス容器検査所建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第5集	チシ古城跡	高知西南地区大規模農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第6集	岡豊城跡Ⅱ	第6次発掘調査報告書
第7集	ひびのきサウジ遺跡Ⅱ	土佐山田観光開発株式会社寮建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第8集	王子・西ノ芝遺跡	春野拡張埋蔵文化財発掘調査報告書
第9集	須江上段遺跡 松ノ本地区	－
第10集	須江上段遺跡 ヨコキ地区	－
平成4年度		
第11集	稗地遺跡	山南川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第12集	南浦遺跡	特別養護老人ホーム・デイサービスセンター建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第13集	中村・宿毛道路関連遺跡発掘調査報告書Ⅰ	第1分冊江ノ古城跡 ハナノシロ城跡 第2分冊西ノ谷遺跡
第14集	金地遺跡Ⅱ	土佐精機新工場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第15集	峯の上遺跡	窪川町南部地区県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
平成5年度		
第16集	下分遠崎遺跡	－
第17集	柳田遺跡	ショッピングセンター建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第18集	秦泉寺廃寺跡Ⅳ	県道高知本山線道路改良工事に伴う発掘調査報告書
平成6年度		
第19集	浦戸城跡	国民宿舎「桂浜荘」改築工事に伴う発掘調査報告書
第20集	小籠遺跡Ⅰ	あけぼの道路建設工事に伴う発掘調査報告書
第21集	高知城跡	伝御台所屋敷跡史跡整備事業に伴う発掘調査報告書
第22集	栄エ田遺跡	四国横断自動車道（南国～伊野）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第23集	尾立遺跡	四国横断自動車道（南国～伊野）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
平成7年度		
第24集	小籠遺跡Ⅱ	あけぼの道路建設工事に伴う発掘調査報告書
第25集	長畝古墳群	高知自動車道（南国～伊野）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第26集	須崎道路（吾井郷地区）埋蔵文化財確認調査報告書	－
第27集	船戸遺跡	中村・宿毛道路関連遺跡発掘調査報告書Ⅱ
平成8年度		
第28集	具同中山遺跡群Ⅰ	中村宿毛道路関連遺跡発掘調査報告書Ⅲ
第29集	小籠遺跡Ⅲ	あけぼの道路建設工事に伴う発掘調査報告書
第30集	介良遺跡	介良川都市小河川改修事業に伴う発掘調査概要報告書
平成9年度		
第31集	陣山遺跡・陣山北三区遺跡	あけぼの道路建設工事に伴う発掘調査報告書
第32集	八田神母谷遺跡	四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第33集	山田三ツ又遺跡	あけぼの道路建設工事に伴う発掘調査報告書
第34集	里改田遺跡試掘調査報告書	県道土居－五台山線改良工事に伴う埋蔵文化財試掘調査報告書
第35集	飛田坂本遺跡	四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う発掘調査報告書
平成10年度		
第36集	西本城跡	県道岡本大方線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

集番号	報告書名	副題
第37集	奥谷南遺跡Ⅰ	四国横断自動車道（南国～伊野）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第38集	八田奈路遺跡Ⅰ	四国横断自動車道（伊野～須崎）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第39集	天崎遺跡	四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う発掘調査報告書
第40集	小籠北遺跡	あけぼの道路建設工事に伴う発掘調査報告書
第41集	福井遺跡	四国横断自動車道（南国～伊野）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
平成11年度		
第42集	浅村遺跡	中村宿毛道路関連遺跡発掘調査報告書Ⅳ
第43集	辺路石南遺跡・五反地遺跡	あけぼの道路建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第44集	里改田遺跡	－杉ノ本地区－
第45集	里改田遺跡	－室ノ内・岩路地区－ 県道土居・五台山線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第46集	具同中山遺跡群Ⅱ－1	中村宿毛道路関連遺跡発掘調査報告書Ⅴ
第47集	奥谷南遺跡Ⅱ	四国横断自動車道（南国～伊野）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第48集	具同中山遺跡群Ⅲ－1	中村宿毛道路関連遺跡発掘調査報告書Ⅵ
第49集	間城跡	中村宿毛道路関連遺跡発掘調査報告書Ⅶ
第50集	北高田遺跡	四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第51集	八田奈路遺跡Ⅱ	四国横断自動車道（伊野～須崎）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第52集	北地アリノ木遺跡	四国横断自動車道（伊野～須崎）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
平成12年度		
第53集	具同中山遺跡群Ⅱ－2	中村宿毛道路高規格道路建設に伴う発掘調査報告書Ⅷ
第54集	神ヶ谷窯跡・サンナミ遺跡	中村・宿毛道路関連遺跡発掘調査報告書Ⅸ
第55集	光永・岡ノ下遺跡	土佐市バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ
第56集	具同中山遺跡群Ⅱ－2	県道中村下ノ加江線緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書
第57集	天神遺跡Ⅰ・林口遺跡Ⅰ	土佐市バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ
第58集	具同中山遺跡群Ⅴ	県道中村下ノ加江線緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書
第59集	具同中山遺跡群Ⅳ	県道中村下ノ加江線緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書
第60集	天神遺跡Ⅱ	土佐市バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ
第61集	西鴨地遺跡	四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第62集	居徳遺跡群Ⅰ	四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
平成13年度		
第63集	奥谷南遺跡Ⅲ	四国横断自動車道（南国～伊野間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第64集	林口遺跡Ⅱ・蓮池城跡北面遺跡	土佐市バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ
第65集	具同中山遺跡群Ⅲ－2	中村宿毛道路埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅹ
第66集	居徳遺跡群Ⅱ	四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第67集	中屋敷遺跡	緊急地方道路整備事業による県道久保大宮線改良工事に伴う中屋敷遺跡発掘調査報告書
第68集	北川内遺跡	広域河川改修事業に伴う北川内遺跡発掘調査報告書
第69集	居徳遺跡群Ⅲ	四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第70集	具同中山遺跡群Ⅲ－3	中村宿毛道路埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅠ
第71集	林田遺跡Ⅰ	緊急地方道路整備事業による県道宮ノ口深淵線改良工事に伴う林田遺跡発掘調査報告書
第72集	田村遺跡群・緑の広場調査報告書	高知県立高知空港緑の広場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第73集	野田遺跡Ⅰ	土佐市バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ
平成14年度		
第74集	岡豊城跡Ⅲ	国分川激甚災害対策特別緊急事業に伴う発掘調査報告書

集番号	報告書名	副題
第75集	高知城跡伝下屋敷跡	高知地家簡裁庁舎敷地埋蔵文化財発掘調査報告書
第76集	林田遺跡Ⅱ	緊急地方道整備事業による県道宮ノ口深淵線改良工事に伴う林田遺跡発掘調査報告書
第77集	勇前遺跡	県道宮ノ上川北線緊急地方道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第78集	居徳遺跡群Ⅳ	四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第79集	東江曲遺跡	新川川河川災害普及助成事業に伴う東江曲遺跡発掘調査報告書
第80集	西分増井遺跡Ⅰ	新川川広域河川改修に伴う西分増井遺跡発掘調査報告書
平成15年度		
第81集	久木ノ城跡・遺跡、古津賀遺跡、神ヶ谷2号窯跡、具同中山遺跡群Ⅱ-2	中村宿毛道路埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅡ
第82集	ジョウマン遺跡	県道高台寺川北線緊急地方道路整備事業に伴うジョウマン遺跡発掘調査報告書
第83集	西分増井遺跡Ⅱ	新川川広域河川改修に伴う西分増井遺跡発掘調査報告書
第84集	馬場末遺跡	新川川広域河川改修に伴う西分増井遺跡群Ⅱ区発掘調査報告書
第85集	田村遺跡群Ⅱ（第1～9分冊）	高知空港再拡張整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第86集	居徳遺跡群Ⅴ	四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第87集	千本杉遺跡	県道庄田伊野線緊急地方道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第88集	城ノ台城跡	国道494号改築工事に伴う発掘調査報告書
第89集	京間遺跡	土佐市バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ
第90集	不破遺跡	中村宿毛道路埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅢ
第91集	居徳遺跡群Ⅵ	四国横断自動車道（伊野～須崎間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
平成16年度		
第92集	林田遺跡Ⅲ	県道宮ノ口深淵線緊急地方道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第93集	野田遺跡Ⅱ・野田廃寺	土佐市バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ
第94集	桜木遺跡	見谷川河川災害関連工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
平成17年度		
第95集	坪ノ内遺跡Ⅰ	四国横断自動車道（須崎市～窪川町）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第96集	史跡高知城跡	丸ノ内緑地試掘確認調査報告書
平成18年度		
第97集	比江廃寺跡Ⅲ	平成6・7年度の確認調査報告書
第98集	加茂ハイタノクボ遺跡Ⅱ	県道宮ノ口深淵線緊急地方道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
平成19年度		
第99集	ミトロ遺跡	国道195号道路改築工事に伴う発掘調査報告書
第100集	介良野遺跡	県道高知東インター線道路改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第101集	北ノ丸遺跡	波介川河口導流事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ
第102集	西野々遺跡Ⅰ	高知南国道路建設工事に伴う発掘調査報告書Ⅰ（東部自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ）
第103集	坂本遺跡	中村宿毛道路埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅣ
第104集	口横ヶ谷遺跡	南国安芸道路建設工事に伴う発掘調査報告書Ⅰ（東部自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ）
第105集	坪ノ内遺跡Ⅱ	四国横断自動車道（須崎～窪川間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第106集	西山城跡	四国横断自動車道（須崎市～四万十市間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
平成21年度		
第107集	上ノ村遺跡Ⅰ	波介川河口導流事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ
第108集	伏原遺跡Ⅰ	都市計画道路高知山田線発掘調査報告書Ⅰ
第109集	伏原遺跡Ⅱ	都市計画道路高知山田線発掘調査報告書Ⅱ
第110集	ひびのきサウジ遺跡	都市計画道路高知山田線発掘調査報告書Ⅲ
第111集	クノ丸遺跡	県道奥西川岸本線建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第112集	原遺跡	県立山田養護学校寄宿舎改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

集番号	報告書名	副題
第113集	天神溝田遺跡	いの町道奥名西線道路改良工事に伴う発掘調査報告書
第114集	史跡高知城跡	三ノ丸石垣整備事業に伴う発掘調査報告書
平成22年度		
第115集	花宴遺跡	南国安芸道路建設工事に伴う発掘調査報告書Ⅱ (高知東部自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ)
第116集	竹林寺跡	県立牧野植物園南園再整備事業及び温室建替えに伴う埋蔵文化財試掘調査・発掘調査報告書
第117集	西野々遺跡Ⅱ	高知南国道路建設工事に伴う発掘調査報告書Ⅱ (高知東部自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ)
第118集	西野々遺跡Ⅲ	高知南国道路建設工事に伴う発掘調査報告書Ⅲ (高知東部自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ)
第119集	徳王子前島遺跡	南国安芸道路建設工事に伴う発掘調査報告書Ⅲ (高知東部自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ)
第120集	上ノ村遺跡Ⅱ	波介川河口導流事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ
第121集	祈年遺跡Ⅰ	国道195号道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第1分冊Ⅰ～Ⅵ区

4 現地説明会等開催一覧

年度	番号	開催遺跡	所在地	開催日	参加人数	備考
3	1	鹿持雅澄邸跡	高知市	5月18日	80	
	2	芳原城跡	春野町	6月16日	100	派遣調査
	3	松ノ木遺跡	本山町	7月20日	150	派遣調査
	4	具同中山遺跡群	中村市	8月4日	60	小学校親子学習会
	5	具同中山遺跡群	中村市	8月7日	60	小学校親子学習会
	6	伏原大塚古墳	土佐山田町	9月21日	110	派遣調査
	7	扇城跡	中村市	9月28日	50	
	8	拝原遺跡	香我美町	10月12日	100	派遣調査
	9	本村遺跡	野市町	2月17日	70	派遣調査
平成3年度合計					780	
4	1	ハナノシロ城跡	中村市	8月5日	50	子供体験学習
	2	江ノ古・ハナノシロ城跡	中村市	11月14日	80	
	3	松ノ木遺跡	本山町	11月21日	60	派遣調査
	4	柳田遺跡	高知市	11月22日	300	
	5	柳田遺跡	高知市	11月24日	150	小学校見学実習
	6	柳田遺跡	高知市	11月27日	200	小学校見学実習
	7	岩井口遺跡	佐川町	11月29日	100	派遣調査
	8	芳原城跡	春野町	12月19日	90	派遣調査
平成4年度合計					1,030	
5	1	芳原城跡	春野町	6月26日	60	派遣調査
	2	船戸遺跡	中村市	9月4日	70	
	3	浦戸城跡	高知市	9月12日	200	
	4	国見遺跡	中村市	9月25日	100	派遣調査
	5	土佐国分寺跡	南国市	12月19日	50	派遣調査
	6	松ノ木遺跡群	本山町	1月22日	60	派遣調査
	7	二ノ部遺跡	佐川町	1月29日	350	派遣調査
平成5年度合計					890	
6	1	奥谷南遺跡	南国市	9月3日	280	
	2	高知城跡	高知市	10月1日	80	
	3	小籠遺跡	南国市	11月19日	100	
	4	長畝3号墳	南国市	11月20日	300	
	5	松ノ木遺跡	本山町	2月25日	100	派遣調査
	6	福井遺跡	高知市	3月11日	100	
平成6年度合計					960	
7	1	下ノ坪遺跡	野市町	6月25日	80	派遣調査
	2	姫野々城跡	葉山村	7月16日	80	派遣調査
	3	小籠遺跡	南国市	8月19日	120	
	4	楠山遺跡	宿毛市	10月19日	12	体験学習
	5	上美都岐遺跡	佐川町	1月14日	100	派遣調査
	6	比江廃寺跡	南国市	2月18日	80	派遣調査

年度	番号	開催遺跡	所在地	開催日	参加人数	備考
平成7年度合計					472	
8	1	下ノ坪遺跡	野市町	7月7日	220	派遣調査
	2	奥谷南遺跡	南国市	8月11日	230	
	3	介良遺跡	高知市	10月10日	120	
	4	曾我城跡	大方町	10月19日	80	派遣調査
	5	光永・岡ノ下遺跡 天神遺跡	土佐市	10月25日	210	
	6	神母谷遺跡	伊野町	11月30日	110	
	7	岩村遺跡群	南国市	12月23日	100	派遣調査
	8	白猪田遺跡	南国市	1月30日	90	派遣調査
	9	田村遺跡群	南国市	3月15日	290	
平成8年度合計					1,450	
9	1	八田奈路・八田栃谷遺跡	伊野町	5月10日	100	
	2	銀杏ノ木遺跡	本山町	7月19日	100	派遣調査
	3	天崎遺跡	土佐市	9月28日	120	
	4	姫野々土居跡	葉山村	9月28日	200	派遣調査
	5	パーガ森北斜面遺跡	伊野町	10月11日	80	派遣調査
	6	具同中山遺跡群	中村市	10月19日	100	
	7	介良遺跡	高知市	2月1日	200	派遣調査
	8	田村遺跡群	南国市	3月1日	200	
	9	西本城跡	大方町	3月15日	80	
	10	居徳遺跡群	土佐市	3月21日	100	
平成9年度合計					1,280	
10	1	神ヶ谷窯跡	宿毛市	6月23日	50	
	2	西鴨地遺跡	土佐市	8月22日	120	
	3	居徳遺跡群	土佐市	10月17日	80	
	4	居徳遺跡群木隊漆器公開	南国市	10月19日	210	埋蔵文化財センター
	5	田村遺跡群	南国市	1月31日	500	
	6	北高田遺跡	土佐市	2月21日	200	
	7	居徳遺跡群	土佐市	3月28日	300	
平成10年度合計					1,460	
11	1	里改田遺跡	南国市	7月11日	100	
	2	林田遺跡	土佐山田町	10月31日	180	
	3	田村遺跡群	南国市	2月20日	300	
平成11年度合計					580	
12	1	高知城跡三ノ丸	高知市	10月29日	300	
	2	具同中山遺跡群	中村市	11月5日	100	
平成12年度合計					400	
13	1	高知城跡伝下屋敷跡	高知市	7月15日	200	
	2	東江曲遺跡	春野町	9月2日	50	
	3	岡豊城跡	南国市	11月25日	220	
	4	西分増井遺跡	春野町	2月10日	200	
平成13年度合計					670	
14	1	千本杉遺跡	日高村	11月4日	80	
平成14年度合計					80	
15	1	土佐市バイパス関連遺跡	土佐市	2月1日	750	バイパス開通記念事業
	2	田村遺跡群	南国市	2月21日	800	空港供用開始記念事業
平成15年度合計					1,550	
16	1	坪ノ内遺跡	中土佐町	7月9日	80	
	2	口横ヶ谷遺跡	夜須町	11月20日	80	
	3	北ノ丸遺跡	土佐市	12月3日	100	
	4	西野々遺跡	南国市	1月20日	150	
	5	高知城跡三ノ丸	高知市	2月24日	500	
	6	西山城跡	中土佐町	3月4日	200	
平成16年度合計					1,110	
17	1	坂本遺跡第1回	四万十市	8月21日	80	
	2	西野々遺跡	南国市	11月23日	180	
	3	坂本遺跡第2回	四万十市	11月26日	100	
	4	ミトロ遺跡	高知市	11月26日	70	
	5	上ノ村遺跡	土佐市	12月4日	100	

年度	番号	開催遺跡	所在地	開催日	参加人数	備 考
17	6	西山城跡	中土佐町	1月21・22日	80	
	7	坂本遺跡第3回	四万十市	2月12日	60	
	8	高知城跡三ノ丸	高知市	3月25日	300	
平成17年度合計					970	
18	1	介良野遺跡	高知市	7月23日	50	
	2	伏原遺跡	香美市	2月18日	200	
	3	上ノ村遺跡	土佐市	2月25日	150	
	4	西野々遺跡	南国市	3月10日	200	
平成18年度合計					600	
19	1	上ノ村遺跡	土佐市	9月16日	30	
	2	徳王子広本遺跡	香南市	9月29日	70	
	3	土島田(祈念)遺跡	南国市	10月21日	100	
	4	高知城跡三ノ丸	高知市	12月16日	120	
	5	上ノ村遺跡	土佐市	2月24日	120	
平成19年度合計					440	
20	1	伏原遺跡第1回	香美市	5月18日	150	
	2	伏原遺跡第2回	香美市	6月22日	80	
	3	関遺跡	南国市	8月24日	60	
	4	土島田(祈念)遺跡	南国市	9月21日	60	
	5	天神溝田遺跡	いの町	9月27日	110	
	6	上ノ村遺跡第1回	土佐市	9月28日	130	午前、午後2回開催
	7	徳王子大崎遺跡	香南市	11月1日	80	
	8	向山戦争遺跡第1回	南国市	12月7日	400	
	9	向山戦争遺跡第2回	南国市	12月21日	200	
	10	上ノ村遺跡	土佐市	3月8日	160	
	11	徳王子前島遺跡	香南市	3月14日	100	
平成20年度合計					1,530	
21	1	土島田(祈念)遺跡	南国市	8月2日	300	
	2	上ノ村遺跡	土佐市	8月29日	75	
	3	天神溝田遺跡	いの町	9月12日	150	
	4	関遺跡	南国市	2月6日	26	
平成21年度合計					551	
22	1	東野土居遺跡第1回	香南市	10月24日	198	
	2	バーガ森北斜面遺跡	いの町	2月19日	200	
	3	東野土居遺跡第2回	香南市	2月20日	122	
平成22年度合計					520	
平成3～22年度総計					17,323	

5 埋蔵文化財センター人員体制一覧

年度	所長	次長	総務課長	事務員		調査課長	班長係長	調査員		合計	職員種別				
				事務員	嘱託員 契約職員			調査員	嘱託員		県派遣	教員派遣	財団職員	他財団派遣	市町村派遣
3	(1)		(1)	1			2	8	2	15	7	2	5		1
4	(1)		(1)	1	1		2	13	2	21	7	6	8		
5	1		1	1	1	1	2	13	2	22	10	5	7		
6	1		1	1	1	1	3	17	2	27	10	9	7		1
7	1		1	2		1	3	19	2	29	11	11	6		1
8	1		1	2		1	4	27	5	41	11	16	14		
9	1	(1)		2	1	1	5	28	4	43	11	18	14		
10	1	(1)		2	2	1	5	28	3	43	11	18	14		
11	1	(1)		2	2	1	5	28	3	43	11	18	14		
12	1	(1)		2	2	1	5	27	2	41	11	17	13		
13	1	(1)		2	2	1	5	27	1	40	11	17	12		
14	1	(1)		2	2	1	5	23		35	10	14	11		
15	1	(1)		2	2	1	5	16		28	10	7	11		
16	1	(1)		2	2	(1)	4	17		28	10	7	11		
17	1	(1)		2	2	1	5	16		28	9	8	11		
18	1	1	1	1	5	(1)	4	18		32	8	10	13	1	
19	1	1	1	1	5	(1)	4	18		32	7	12	12	1	
20	1	1	1	1	5	(1)	4	15	2	31	7	11	12	1	
21	1	1	1	1	5	(1)	4	15	2	31	8	10	13		
22	1	1	1	1	5	(1)	4	13	2	29	8	8	13		

注1 所長－平成3・4年度は専務理事兼務

注2 次長－平成9～17年度は総務課長を兼務

注3 総務課長－平成3・4年度は事業課長で1課体制

注4 調査課長－平成16年度は調査第二班長を兼務・平成18～22年度は企画調整班長を兼務

6 埋蔵文化財センター入館者数等一覧

年度	入館者数	展示会 参加者数	公開講座 参加者数	出前考古学教	
				参加者数	開催校数
3	120	—	—	—	—
4	250	—	—	—	—
5	98	—	—	—	—
6	86	—	—	—	—
7	50	—	—	—	—
8	214	—	—	—	—
9	867	—	—	—	—
10	1,160	—	—	450	8
11	660	—	—	1,428	10
12	328	—	—	3,789	40
13	811	811	—	2,233	27
14	821	821	48	2,541	31
15	1,171	1,171	109	2,121	31
16	1,522	1,523	175	1,083	41
17	1,180	1,179	120	1,357	34
18	1,555	1,435	431	1,703	60
19	2,182	2,035	446	2,467	69
20	2,561	2,256	1,122	2,088	64
21	2,866	2,676	1,187	1,438	53
22	2,724	2,534	1,499	2,574	65
合計	21,226	16,441	5,137	25,272	533

※ 平成 22 年度の入館者・展示会参加者・公開講座参加者数は 2 月末の数値である。

7 記念講演会一覧

年度	演 題	日 時	会 場	講 師	参加者数
14	細石刃文化の波及	8 月 25 日	ホリデイイン高知	岡山大学教授 稲田孝司	60
15	邪馬台国時代の土佐と大和	9 月 7 日	ホリデイイン高知	徳島文理大学教授 石野博信	125
16	東アジアにおける弥生社会と田村遺跡群	9 月 12 日	ホリデイイン高知	愛媛大学教授 下条信行	130
17	野中兼山の改革	9 月 3 日	美術館ホール	作家 山本一力	400
18	土佐の戦国武将と城づくり	11 月 4 日	高知会館	高知県文化財保護審議会会長 前田和男	91
19	考古学から山里の歴史	1 月 26 日	高知会館	首都大学東京教授 山田昌久	77
20	考古学的にみた高知の古代	7 月 13 日	高知会館	(財)大阪府文化財センター 理事長 水野正好	120
20	古代人とまつり	2 月 8 日	かるぽーと	徳島市立考古資料館長 一山典	76
21	古代の土佐－その政治と文化－	2 月 7 日	かるぽーと	文化庁記文化部念物課 文化財調査官 山下信一郎	110
22	高知の古墳からみる古代の 政権交代	2 月 6 日	高知城ホール	高知大学教授 清家章	56

8 職員専門研修一覧

年度	研修日	講 師	研 修 内 容
7	2月21日	駒澤大学教授 倉田芳郎	日本における磁器の誕生
	2月23日	シルクロード学研究センター 寺沢薫	銅鐸研究の諸問題
8	11月28・29日	奈良文化財研究所 牛島茂	埋蔵文化財写真入門編
	1月16・17日	奈良文化財研究所 山中敏史	地方官衙遺跡の調査方法と発掘成果
9	10月16・17日	高槻市立埋蔵文化財センター 橋本久和	西日本の中世毒研究の現状
	1月22・23日	岡山県教育委員会文化課 平井勝	初期農耕社会の土器と石器
10	12月10・11日	国立歴史民俗博物館 春成秀爾	絵画から見た弥生社会
	3月11・12日	立命館大学教授 高橋学	埋蔵文化財調査のための地理環境分析
11	7月26・27日	愛媛大学教授 下条信行	弥生時代の集落論
	11月18・19日	国立歴史民俗博物館 辻誠一郎	21世紀の年代観づくりと生態系史解読に向けて
12	7月27・28日	高知大学教授 満塩博美	第四紀地質学と考古学
	11月29・30日	佐賀県立九州陶磁文化館 鈴木由紀夫	近世陶磁器の編年について
13	7月26・27日	愛媛大学教授 田崎博之	弥生集落研究の方法と実践
	11月19・20日	大阪市立自然史博物館 那須孝悌	発掘調査と地層
14	7月18・19日	大谷女子大学教授 中村浩	須恵器について
	11月11・12日	奈良文化財研究所 沢田正昭・肥塚隆保・高妻洋成	遺物の保存と復元について
15	7月15・16日	文化庁文化部記念物課 坂井秀弥	わが国の埋蔵文化財保護行政の現状と課題
	11月17・18日	東大阪短期大学元教授 北垣総一郎	「城と石垣」石垣構築技法からみた近世城郭の形成
16	7月22・23日	高知大学教授 清家章	古墳の被葬者像を探る
	11月15・16日	京都大学教授 金田章裕	古代・中世の村落景観
17	7月7・8日	高知大学教授 市村高男	文献史学からみた土佐の中世
	11月15・16日	高知工科大学教授 赤澤威	旧石器時代－シリアで目にしたもの－
18	7月10・11日	愛媛大学教授 村上恭通	鉄と考古学
	11月20・21日	(財)大阪市文化財協会 趙鉄済	土層堆積と発掘調査
19	7月19・20日	高知大学教授 吉倉伸一	県内産の石製品の石材について
	11月26・27日	名古屋市見晴台考古資料館 伊藤厚史	戦争遺跡について
20	7月13・14日	(財)大阪文化財センター 理事長 水野正好	埋蔵文化財の現状と課題
	11月17・18日	首都大学東京教授 山田昌久	遺跡出土の木製品について
21	9月14・15日	(株)アルカ 角張淳一	石器研究法
	11月19・20日	元奈良文化財研究所 光谷拓実	年輪年代学
22	9月16・17日	文化庁記念物課 欄宜田佳男	埋蔵文化財行政の現状と課題
	11月8・9日	大阪大学教授 福永伸哉	南四国における弥生時代後期から古墳時代初頭の様相

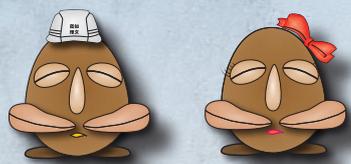
9 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター研修参加一覧

年度	研修課程	参加者	備考
4	一般課程	山崎正明	
	中近世遺跡調査課程	近森泰子	
	有機物応急処理過程	藤方正治	
5	一般課程	池澤俊幸	
	遺跡測量課程	坂本憲昭	
	環境考古学課程	吉成承三	
	埋蔵文化財基礎課程	三浦康寛	
6	遺跡測量課程	佐竹寛	
	文化財写真課程	曾我貴行	
	一般課程	田上浩	
7	環境考古学課程	宮地早苗	
9	寺院遺跡調査課程	久家隆芳	
	水田遺跡調査課程	坂本裕一	
	報告書作成課程	田中涼子	
12	遺跡環境調査課程	田中涼子	
13	陶磁器調査課程	小野由香	
	遺跡環境調査課程	下村裕	
14	一般課程	田中耕輔	
	中近世城郭調査課程	今田充	
15	遺跡地図情報課程	下村裕	
	報告書作成課程	久家隆芳	
16	一般課程	前田憲志	
17	写真基礎課程	久家隆芳	
	報告書作成課程	坂本信之	
18	保存科学Ⅰ 無機質遺物課程	坂本憲昭	
	一般研修 遺物観察調査課程	井上昌之	
19	地方官衙遺跡調査課程	小野由香	
	保存科学Ⅱ 有機質遺物課程	坂本憲昭	
20	一般研修 遺物観察調査課程	中石忍	
21	文化財写真Ⅱ（応用）課程	久家隆芳	
	地質環境課程	下村裕	
22	建築遺構調査課程	吉成承三	
	三次元計測課程	坂本憲昭	

二十年の歩み

埋蔵文化財センター二十周年

発行日 平成 23 年 3 月 30 日
編集・発行 (財) 高知県文化財団埋蔵文化財センター
〒 783-0006 高知県南国市篠原 1437 - 1
TEL 088 - 864 - 0671
印刷所 (有) 片岡印刷所



文蔵くん まいちゃん
埋蔵文化財センターマスコット